

日本気象学会 2003年度秋季大会

会期 : 2003年10月15日(水)～17日(金)
 会場 : 宮城県民会館・勾当台会館(仙台市青葉区国分町3丁目)

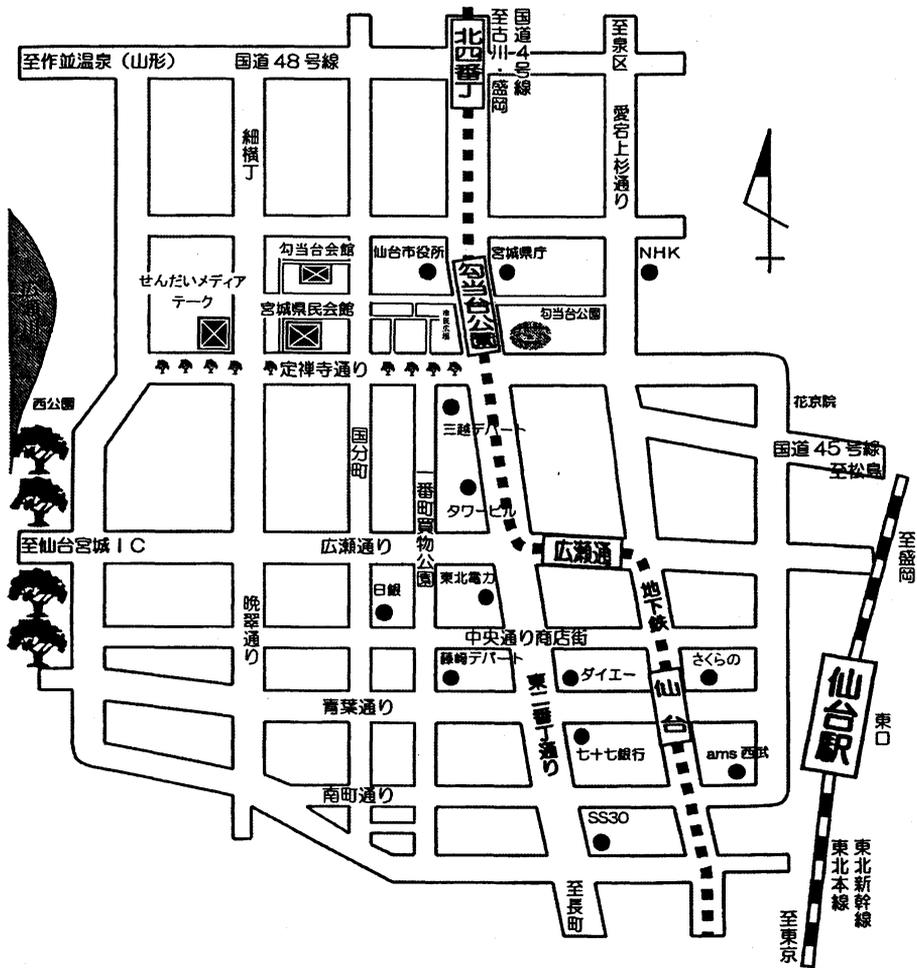
大会実行委員会担当機関 : 仙台管区気象台, 東北大学大学院理学研究科,
 (財)日本気象協会東北支局

大会実行委員長 : 中村匡善(仙台管区気象台)

当日の会場への連絡先 : 大会実行委員会事務局(宮城県民会館 小会議室 603号)
 TEL・FAX : 022-227-3110

会場案内図

地下鉄勾当台公園駅下車徒歩5分



大会行事予定

A会場 : 宮城県民会館 大会議室 601号
 B会場 : 宮城県民会館 中会議室 602号
 C会場 : 勾当台会館 蔵王西
 D会場 : 勾当台会館 蔵王東
 ポスター会場 : 宮城県民会館 展示室 501号, 展示室 502号,
 教養室 401号

シンポジウム・各賞授与式会場 : 宮城県民会館 大ホール

受付 : 宮城県民会館 展示室 501号
 大会事務局 : 宮城県民会館 小会議室 603号
 休憩室 : 宮城県民会館 教養室 503, 504号
 懇親会 : 勾当台会館 蔵王西・蔵王東

() は講演数, - は座長

		A会場	B会場	C会場	D会場
10月15日 (水)	09:30 ~ 12:00	スペシャルセッション 「ミリ波レーダによる新しい気象観測」 (10, A101 ~ A110) - 橋口浩之 - - 大野裕 -	台風 (13, B101 ~ B113) - 村田昭彦 -	降水システム I (13, C101 ~ C113) - 坪木和久 -	大気力学 (14, D101 ~ D114) - 野田 彰 -
	13:00 ~ 16:30	大気境界層 (19, A151 ~ A169) - 力石國男 - - 桑形恒男 -	気候システム I (20, B151 ~ B170) - 佐藤康雄 -	降水システム II (19, C151 ~ C169) - 川島正行 -	観測手法 (18, D151 ~ D168) - 佐藤晋介 -
	16:40 ~ 18:00	ポスター・セッション (A,B会場で概要紹介後, ポスター会場で講演) A会場(34, P101 ~ P134) - 永戸久喜 - B会場(36, P135 ~ P170) - 西森基貴 -			
10月16日 (木)	09:15 ~ 12:00	気象予報 (15, A201 ~ A215) - 小司禎教 -	気候システム II (14, B201 ~ B214) - 本田明治 -	降水システム III (15, C201 ~ C215) - 折笠成宏 -	物質循環 I (15, D201 ~ D215) - 兼保直樹 -
	13:00 ~ 15:00	山本正野論文賞・堀内賞・奨励賞授与 山本正野論文賞・堀内賞記念講演			
	15:15 ~ 17:30	シンポジウム「東アジア域における環境変化と気候」 司会 : 浅野正二 基調講演 : 明日香壽川, 中島映至, 本多嘉明, 安成哲三			
	18:00 ~ 20:00	懇親会			
10月17日 (金)	09:15 ~ 11:00	スペシャルセッション 「衛星からの大気観測～ 日本の貢献と将来展望 ～」I (7, A301 ~ A307) - 笠井康子 -	熱帯大気 (10, B301 ~ B310) - 藤原正智 -	放射 (8, C301 ~ C308) - 岩淵弘信 -	物質循環 II (8, D301 ~ D308) - 和田 誠 -
	11:10 ~ 12:30	ポスター・セッション (A,B会場で概要紹介後, ポスター会場で講演) A会場(35, P301 ~ P335) - 藤部文昭 - B会場(35, P336 ~ P370) - 平次尚彦 -			
	13:30 ~ 17:00	スペシャルセッション 「衛星からの大気観測～ 日本の貢献と将来展望 ～」II (13, A351 ~ A363) - 塩谷雅人 - - 中島英彰 -	気候システム III (19, B351 ~ B369) - 遠藤伸彦 - - 高橋清利 -	中層大気 (6, C351 ~ C356) - 渡部真吾 - 中高緯度大気 (6, C357 ~ C362) - 荒井美紀 - 環境気象 (6, C363 ~ C368) - 山本 哲 -	物質循環 III (19, D351 ~ D369) - 石澤みさ -

発表件数 : 427件 (口頭発表 287, ポスター 140)

口頭発表の講演・質疑時間 : 7分と3分

大会参加費 : 郵便振替による前納の場合 一般会員 2,000円, 学生会員 1,000円 ;
 当日受付の場合は 一般会員 3,000円, 学生会員 2,000円, 非会員 3,000円。
 懇親会費 : 郵便振替による前納の場合 一般会員 4,500円, 学生会員 3,500円 ;
 当日払いの場合は 一般会員 5,500円, 学生会員 4,500円, 非会員 5,500円。

大会当日は混雑しますので, 極力前納されるようお願いします。
 なお郵便振替用紙は「天気」6月号の末尾に挿入されたものを使い, 10月3日までに振り込んで下さい。

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には, 日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は, 利用許諾の申請は不要です。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは, 〒305-0052 茨城県つくば市長峰 1-1 気象研究所予報研究部内 講演企画委員会 (e-mail:org-msj@mri-jma.go.jp)まで。

講演の方法

口頭発表

口頭発表の一人当たりの発表時間は、全時間を申込件数で等分したものを目安として講演企画委員会が決定することになっています。今回については、**講演時間を7分・質疑時間を3分**といたしますのでよろしくお願ひします。スペシャルセッションについては世話人からの指示に従ってください。

ポスター発表

- ・A または B 会場で概要紹介(1件30秒以内)の後、ポスター会場で講演を行います。講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい
- ・ポスター発表の一人当たり使用可能面積は、幅1.0m×高さ1.8mとなっています。ポスターの掲示の際、虫ピンのみが使用可能です。これらは事務局で準備します。
- ・ポスターの掲示可能時間は以下の通りです。
 - 第1日の発表者は10月15日11:00～10月16日12:30
 - 第3日の発表者は10月16日12:30～10月17日16:00

機器の使用について

- 口頭発表
 - ・OHPとPCプロジェクターが使用できます。
 - ・PCプロジェクターを使用する際は予め以下の点を

ご了承ください。

- PCプロジェクターの使用は、原則として講演申し込み時に使用する旨を届けていた講演者(講演タイトルのあとに[P]と記載)に限ります。ただし、ポスター発表から口頭発表に振り替えられたなどの止むを得ない事情がある場合は、当日の使用の申し出を受け付けます。その場合は必ず当該セッション開始前の休憩時間に、当該会場で会場係へその旨を申し出て下さい。
- パソコンは各自で準備して下さい。会場にはプロジェクターおよび接続ケーブルのみを準備します。
- セッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。また接続が不安な場合は、開始前に会場係に申し出て下さい。
- 突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で、発表順を繰り下げたりOHPによる発表に切り替えさせて頂くことがあります。このため、最低限の発表が出来るだけのOHPシートも用意しておいて下さい。

●ポスター発表

- ・概要紹介はOHPのみ使用できます。
- ・ポスター会場での機器の使用は講演申し込み時に申し出ていたもの以外は原則として認められません。

シンポジウム「東アジア域における環境変化と気候」

日時：大会第2日(10月16日) 15:15～17:30

会場：宮城県民会館 大ホール

司会：浅野正二(東北大学大学院理学研究科)

趣旨

中国、韓国、日本などの国々を含む東アジア域は、世界中で最も人間活動が活発な地域の一つで、現在15億(世界人口の1/4弱)を超える人々が暮らしております。この地域では、前世紀後半に急激な人口増加と社会構造の変革が起こり、都市化や工業化にともなうエネルギーや水資源の消費拡大および森林伐採や土地利用の改変などによる環境破壊が深刻化しました。他方、毎年のように、豪雨、洪水、早魃、冷夏、暖冬、大気汚染や黄砂現象の頻発などのさまざまな災害や異常な天候に見舞われております。これらは、この地域に特有な原因により生じることもある一方で、地球温暖化などの全球規模の現象に関連しているかもしれません。このシンポジウムでは、東アジア域における環境変化と、この地域の、あるいは、全球規模の気候変動との相互関係について、さらには、気候変動や環境破壊のような国境を越えた問題への大気科学の対応について、考えてみたいと思います。

なお、初めての試みとして、今回のシンポジウムを一般に公開することとなりました。市民の皆様にも、これらの問題について一緒に考えて頂くとともに、日本気象学会の活動に一層のご理解とご支援を頂ければ幸いです。

基調講演

- ・「東アジアにおける気候変動問題と国際協力」 明日香壽川(東北大学東北アジア研究センター)
 - ・「東アジアにおける大気汚染と気候影響」 中島映至(東京大学気候システム研究センター)
 - ・「東アジアにおける地表面(植生)の変化(仮題)」 本多嘉明(千葉大学環境リモートセンシング研究センター)
 - ・「東アジアにおける水循環と気候の変化」 安成哲三(名古屋大学地球水循環研究センター)
- コメンテーター 栗原弘一(仙台管区気象台技術部)

総合討論

スペシャルセッション「ミリ波レーダによる新しい気象観測」

日時 : 大会第1日(10月15日) 09:30 ~ 12:00
 会場 : 宮城県民会館 大会議室 601号(大会A会場)
 世話人 : 大野裕一(通信総合研究所), 真木雅之(防災科学技術研究所),
 橋口浩之(京都大学宙空電波科学研究センター)

趣旨

周波数 30 ~ 300GHz のレーダはミリ波レーダと呼ばれ、通常の気象レーダでは捉えることができない雲や霧を観測できることから、国内においても数台の気象用ミリ波レーダが開発されてきた。高い感度と分解能を有するミリ波レーダの有用性は徐々に認識されつつあり、様々なキャンペーン観測にも活用され始めている。これまで行われたミリ波レーダの観測結果を集積し、知見を共有する場として、また、衛星搭載などミリ波レーダの将来展望を議論する場として、本スペシャルセッションを提案したい。

スペシャルセッション「衛星からの大気観測～日本の貢献と将来展望～」

日時 : 大会第3日(10月17日) 09:15 ~ 11:00, 13:30 ~ 17:00
 会場 : 宮城県民会館 大会議室 601号(大会A会場)
 世話人 : 中島英彰, 杉田考史(国立環境研究所), 笠井康子(通信総合研究所),
 塩谷雅人(京都大学宙空電波科学研究センター), 鈴木 睦(宇宙開発事業団)

趣旨

ここ数年来、世界各国から ODIN, SAGE-III, Envisat などの大気観測を目的とした人工衛星が成功裏に打上げられた。また、日本でも 2002 年 12 月に ADEOS-II が打上げられた。ADEOS-II には環境省のオゾン層観測センサ ILAS-II が搭載され、2003 年 4 月から連続観測が開始された。また、1991 年打上げの UARS のいくつかのセンサからは、いまだに長期的にデータが取得されている。本セッションでは、これら世界の衛星センサによる大気微量成分の観測によって解明された新たな解析結果や、ILAS-II からの初期解析結果などの発表を中心として、現在運用中の多くの大気観測衛星センサから何が期待されるのか、あるいは将来目指すべき衛星からの大気観測の展望に関する議論を行う。特に、将来を担う若い研究者の参加を希望する。

研究会のお知らせ

大会期間中とその前後に以下の研究会が予定されています。興味のある方はご自由にご参加下さい。

第 22 回メソ気象研究会

日時 : 2003 年 10 月 14 日(火) (大会前日) 14:00 ~ 17:30
 場所 : 福島テルサ(〒960-8101 福島市上町 4-25, TEL:024-521-1500)
 テーマ : 「メソ対流系と豪雨」
 コンビナー : 渡邊明(福島大学教育学部)

世話人 : 吉崎正憲(気象研究所), 坪木和久(名古屋大学地球水循環研究センター), 小倉義光(東京大学海洋研究所)

内容 : 近年、降水量の時空間変動が大きく、特に短時間強雨が豪雨災害を誘引する主要因となることが顕在化しています。短時間降水量の変動は、まさにメソ対流系そのものの盛衰に関連しており、強雨を引き起こすメソ対流系の実態の解明や、予測が重要になっています。今回のメソ気象研究会は、これまでのメソ対流系の研究成果をレビューするとともに、研究手法としての数値モデルによるメソ対流系の構造や組織化の解明、さらには予測の現状と課題について検討することを目的として開催致します。また、メソ対流系の顕著な具体例として、近年発生した豪雨の実態を報告していただき、各地で発生した豪雨の実態を相互に比較検討することによって、具体例からのメソ対流系の課題について考えたいと思っております。メソ対流系に興味のある多くの方々の参加をお待ちしています。

プログラム(講演時間は一人 30 分) :

I. 戦略的基礎研究「メソ対流系」の報告

1. 戦略的基礎研究「メソ対流系」の総括と地上観測 吉崎正憲(気象研究所)
2. 航空機観測(仮題) 村上正隆(気象研究所)
3. 数値実験と解析 加藤輝之(気象研究所)

II. 豪雨の実態

1. 東海豪雨(仮題) 坪木和久(名古屋大学地球水循環研究センター)
2. 南東北・北関東豪雨 渡邊明(福島大学教育学部)
3. 練馬豪雨(仮題) 小林文明(防衛大学校地球科学科)

III. 総合討論

連絡先：渡邊明(福島大学教育学部)

TEL・FAX: 024-548-8203, Email: may@db2.educ.fukushima-u.ac.jp

※最終的なプログラムは、<http://www1.newweb.ne.jp/wb/crest-mcs/MSJ/A2003meso.htm> に掲載します。

オゾン研究連絡会

日時：2003年10月15日(水) セッション終了次第2時間程度

場所：宮城県民会館 中会議室 602号(大会B会場)

内容：7月に札幌で開催された IUGG 会議の参加報告を数名の方に行っていただきます。この参加報告はシンポジウム全体の報告ではなく、各報告者が最も興味を持った発表 に関して少し掘り下げた内容を報告をしていただくことにしております。関心のある方は是非ご参加下さい。

世話人：笠井康子(通信総合研究所), 川上修司, 河本望(NASDA/EORC), 永島達也(国立環境研究所), 庭野将徳(京大院理), 村田功(東北大学大学院理学研究科)

連絡先：村田功(東北大学大学院理学研究科)

TEL:022-217-5776, FAX:022-217-5775, E-mail:murata@pat.geophys.tohoku.ac.jp

極域・寒冷域研究連絡会

日時：2003年10月17日(金) 17:15～2時間程度

場所：宮城県民会館 中会議室 602号(大会B会場)

話題：氷床コアと気候変動

「ドームふじコア解析によって明らかにされた過去32万年間の大気組成変動と気候変動」
青木周司(東北大学大学院理学研究科)

「極域雪氷層中への溶存物質供給および堆積後の移動過程」

五十嵐誠(国立極地研究所)

「氷期終焉の原因? : 地球軌道要素 vs 温室効果ガス」

阿部彩子(東京大学気候システム研究センター)

今回は、氷床コア及び気候変動に関する特集です。数万年以上にわたるような気候変動の研究においては、氷床コア中に含まれる気体成分の濃度や同位体比の変動が重要な手がかりになります。二酸化炭素の変動が気候変動の原因なのか、またはその逆なのかという議論がありますが、この問題の解決には、氷床コア中の気体成分測定精度のさらなる向上が重要であるほか、気体等の氷床への取り込みの過程も詳しく議論する必要があります。これらの話題に、モデルで再現された気候変動の議論を交えながら、3名の方に、最新の成果等を紹介して頂きます。

代表：山崎孝治(北海道大学大学院地球環境科学研究科)

世話人：平沢尚彦(国立極地研究所), 中村 尚(東京大学理学部), 浮田甚郎(コロンビア大学), 高田久美子(地球フロンティア研究システム), 阿部彩子(東京大学気候システム研究センター), 佐藤 薫(国立極地研究所), 本田明治(地球フロンティア研究システム), 齋藤冬樹(東京大学気候システム研究センター), 高谷康太郎(地球フロンティア研究システム)

連絡先：高谷康太郎(地球フロンティア研究システム)

TEL:045-778-5526, FAX:045-778-5707, E-mail:takaya@jamstec.go.jp

第25回 IGBP/GAIM 研究会

日時：2003年10月18日(土) (大会翌日) 午前中

場所：東北大学理学部合同棟の共通講義室 (303室) (青葉山理学部バス停の直ぐ前)

内容：招待講演および一般講演

世話人：末田達彦(愛媛大学農学部), 馬淵和雄(気象研究所)

※研究会のプログラムなど詳細については、気象学会会場に掲示予定。

春季大会の予告

2004年度春季大会は、2004年5月16日(日)～19日(水)に気象庁・学術総合センター・学士会館で開催される予定です。大会告示は「天気」12月号に掲載されます。春季大会の発表申し込み締め切りは2004年2月頃となる予定です。

大会第1日〔10月15日〕 A会場

(〰)は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:30 ~ 12:00)

スペシャルセッション

「ミリ波レーダによる新しい気象観測」

座長：橋口浩之(京大宙空電波)

- A101 太野裕一(通総研) ミリ波気象レーダの概要と展望 [P]
- A102 浜津享助(三菱電機)・橋口浩之(京大宙空電波)他 1名 ミリ波レーダのシステムと最近の技術動向 [P]
- A103 植松明久・橋口浩之(京大宙空電波)他 5名 ミリ波ドップラーレーダによる釧路における霧の観測 [P]
- A104 山本哲・鈴木修(気象研)他 5名 ミリ波レーダとシーロメータによる霧の微物理量のリモートセンシング
- A105 田川哲也・岡本謙一(大阪府立大院)他 3名 35 GHz帯電波の地面に対する散乱特性 [P]

座長：大野裕一(通総研)

- A106 岩波越・真木雅之(防災科研)他 12名 2波長ミリ波レーダによる層状降水雲の観測 [P]
- A107 桑田路子・幡磨屋敏生(北大院理)他 6名 2波長レーダを用いた巻雲の雲物理量リトリーバル [P]
- A108 鷹野敏明・須賀弓郎(千葉大院自然科学)他 10名 雲粒子観測用 95GHz FM-CW レーダの性能 [P]
- A109 岡本創・西澤智明(東北大院理)他 8名 APEX-E3における航空機搭載レーダ・ライダーシステムを使った雲解析 [P]
- A110 熊谷博・黒岩博司(通総研)他 4名 雲・エアロゾル・放射収支観測衛星(EarthCARE)搭載雲レーダ [P]

午後(13:00 ~ 16:30)

大気境界層

座長：力石國男(弘前大理工)

- A151 竹見哲也(大阪大工)・黒崎泰典(気象研)他 1名 東アジア内陸乾燥地域の砂嵐と擾乱の特性 [P]
- A152 伍培明・佐々木太一(地球観測フロンティア)他 3名 インドネシアスマトラの沿岸地における可降水量の日変化
- A153 佐々木太一・伍培明(地球観測フロンティア)他 6名 インドネシア・スマトラ島西部山岳域における混合層より上に及ぶ水蒸気の鉛直輸送
- A154 上明戸優子(東海大)・立花義裕(地球フロンティア/東海大)他 3名 インドシナ半島での乾季から雨季移行時における逆転層と大気放射過程

- A155 力石國男・蓬田安弘(弘前大理工) 十勝平野における局地的強風の発生機構について [P]
- A156 簗俣弘徳(防災科研)・桑形恒男(農環研) 領域モデルを用いた広戸風発生に関する研究 [P]
- A157 沢田雅洋・余偉明(東北大院理) 重力流の数値実験(3)
- A158 荻川亮・高橋正明(東大気候システム) 関東地方の谷内部で強化される熱的低気圧と広域海風に関する研究 [P]
- A159 蓬田安弘・力石國男(弘前大理工) 関東からつ風の発生機構についての考察 [P]

座長：桑形恒男(農環研)

- A160 佐藤尚毅・高橋正明(東大気候システム) 夏季の関東平野におけるヒートアイランドが海風循環に与える力学的影響
- A161 余偉明(東北大院理) Development of an urban meteorological numerical model in Cartesian coordinate [P]
- A162 大橋唯太・玄地裕(産総研)他 4名 都市気象・ビルエネルギー連成モデルによる街区内気温の数値シミュレーションとその精度検証
- A163 安田延壽(東北大理)・肥塚清光(北陸セキスイハイム) 仙台市のヒート・アイランド現象および人為的排熱
- A164 池東旭・菅原広史(防衛大地球)他 1名 ヒートアイランド強度における郊外地域の妥当性検討—ソウル(韓国)
- A165 桑形恒男(農環研)・濱寄孝弘(北海道農業研究センター)他 1名 群落熱収支モデルによる水田水温・地温のシミュレーション [P]
- A166 渡辺力(森林総研) 植物群落上のスカラー輸送に寄与する組織乱流の構造 [P]
- A167 堀口光章・植田洋匡(京大防災研)他 3名 中立に近い安定度の大气境界層における乱流の構造—観測と数値実験— [P]
- A168 松島大(東北大院理) 放射温度と空気力学的地表面温度によるパラメータ kB^{-1} の相違
- A169 毛利英明(気象研)・堀見浩(気象環境サービス)他 2名 非一様面上の境界層内への乱流拡散に関する風洞実験

大会第1日 [10月15日] B会場

()は講演者を表す。 [P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:30 ~ 12:00)

台風

座長: 村田昭彦(気象研)

- B101 筆保弘徳・湯本道明(防災科研)他1名 Pressure dip 発生と台風災害～ Pressure dip 前面で発達する対流～ [P]
- B102 板野裕久・内藤玄一(防衛大地球)他2名 一時的に楕円形へと変形した台風 Saomai の眼について [P]
- B103 手柴充博(京大宙空電波)・山中大(神戸大)・山中大(神戸大)・山中大(神戸大)・山中大(神戸大) 地球観測フロンティア)他4名 気象庁 WINDAS・境界層レーダーを用いた台風 0221 号中心付近の観測 [P]
- B104 梶野俊介・中澤哲夫(気象研) マイクロ波センサーのデータを用いた台風の強度推定法についての研究 [P]
- B105 味崎利光・板野裕久(防衛大地球)他1名 GMS-5 データを用いた台風 0008 号の雲の解析 [P]
- B106 北島尚子・別所康太郎(気象研)他1名 台風 0219 号の構造 一本当に台風だったのか?
- B107 中野満寿男・中島健介(九大院理) 鉛直シア一場における冷却による渦生成について [P]
- B108 上野充(気象研) モデル計算で得られた台風移動と指向流の関係
- B109 酒井亮太・細見卓也(気象庁数値予報) 気象庁現業台風モデルの改良 [P]
- B110 和田章義(気象研)・細見卓也(気象庁数値予報)他1名 台風海洋混合層モデルにおける物理過程の変更と海洋への影響
- B111 吉岡真由美(地球シミュレータ)・栗原宜夫(地球フロンティア) 高解像度全球大気シミュレーションによる台風の発生条件 [P]
- B112 大内和良(AESTO/気象研)・吉村裕正(気象研)他 高精度・高分解能気候モデルにおける熱帯低気圧の理解へ向けて—地球シミュレータでの MRI/JMA 統一全球モデルの 20km 格子ランより—
- B113 釜塚弘隆・山崎信雄(気象研)他1名 JRA-25 長期再解析プロジェクト—熱帯低気圧が大規模場と与える影響—

午後(13:00 ~ 16:30)

気候システム I

座長: 佐藤康雄(気象研)

- B151 上口賢治・鬼頭昭雄(気象研)他3名 気象研究所 AGCM の日降水特性の検証 [P]
- B152 横昌司・松丸圭一(気象研)他3名 大気大循環モデルによる気候再現実験 [P]

- B153 野沢徹・永島達也(環境研)他4名 他種類のエアロゾルによる第2種間接効果を考慮した場合の20世紀の気候再現実験 [P]
- B154 竹村俊彦(九大応力研)・野沢徹(環境研)他1名 全球3次元エアロゾル輸送・放射モデルを用いたエアロゾル直接・間接効果による気候変動の解析 [P]
- B155 永島達也(環境研) 太陽活動11年周期変動の成層圏への影響 ～化学気候モデルを用いた考察～ [P]
- B156 足立恭将・保坂征宏(気象研)他2名 『陸域拡大』に対する気候モデルのインパクト実験 [P]
- B157 本井達夫・陳永利(地球フロンティア)他2名 パナマ・ゲートウェイのクロージングによる北太平洋から北大西洋への深層水形成海域の交代と気候変化
- B158 酒井孝太郎(地球フロンティア) 大気・海洋・氷床結合モデルによる最終氷期末期の状態再現の試み
- B159 行本誠史・石崎廣(気象研)他1名 地球温暖化に伴う北半球大気循環場と北太平洋海面水位の変化 [P]
- B160 佐藤康雄・辻野博之(気象研)他5名 地球温暖化時の日本近海における海面水温・水位の予測について—高解像度太平洋域海洋モデルの結果— [P]
- B161 内山貴雄・鬼頭昭雄(気象研)他1名 地球温暖化時の梅雨の変化について [P]
- B162 西森基貴(農環研)・鬼頭昭雄(気象研) 統計的ダウンスケーリング手法の改善と温暖化時の日本域における降水量予測
- B163 鈴木真一・飯塚聡(防災科研)他2名 CGCM と AGCM において再現された梅雨前線の差異 [P]
- B164 村上茂教・鬼頭昭雄(気象研)他2名 温暖化に対する熱塩循環の長期応答と大気水蒸気輸送の役割:理論的考察 [P]
- B165 岩朝美晴(東大気候システム)・阿部豊(東大院理)他1名 地球温暖化時に大気中の相対湿度はなぜ変わらないのか? [P]
- B166 高慈出(気象研)・加藤央之(電中研)他6名 領域気候モデルによる現在気候の再現性について [P]
- B167 馬淵和雄・佐藤康雄(気象研)他1名 地域気候モデル(JSM-BAIM)を用いた数値実験(3)—降水再現性に関する検証— [P]
- B168 水田亮(AESTO/気象研)・吉村裕正(気象研)他 超高分解像度全球気候モデルを用いた長期積分 [P]
- B169 加藤輝之・吉崎正憲(気象研)他3名 高分解能非静力学モデルによる領域気候予測その1: 高分解能での長期積分への取り組み [P]
- B170 安永敦明(AESTO)・加藤輝之(気象研)他5名 高分解能非静力学モデルによる領域気候予測その2: スペクトル境界(SBC)法を導入した場合の性能評価 [P]

大会第1日〔10月15日〕 C会場

(〰は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:30 ~ 12:00)

降水システム I

座長：坪木和久(名大地球水循環)

- C101 二宮洗三・榎本剛(地球フロンティア)他 3名 大気気候モデル T106L52 による寒気内低気圧の発達
- C102 遊馬芳雄(北大院理)・塩原匡貴(極地研)他 2名 AAMP98 期間中に観測されたノルウェー海上のポーラーローの数値実験 [P]
- C103 永戸久喜・室井あし(気象研)他 3名 寒冷渦の影響を受けて発達した帯状雲の構造について [P]
- C104 青梨和正・小司禎教(気象研)他 若狭湾特別観測(WAKASA2003)の固体降水の構造と雲物理量の特徴(その2) [P]
- C105 村上正隆・折笠成宏(気象研)他 3名 航空機による寒気吹き出し前面に形成した帯状降雪雲の内部構造観測 [P]
- C106 横研一・森一正(気象研)他 8名 三国山脈周辺の降雪粒子の雲物理特性の観測—事例解析—
- C107 中井専人・石坂雅昭(防災科研)他 3名 降雪のモードと地上降雪：長岡 2003 年 1 月 4-6 日の事例 [P]
- C108 中井専人・山口悟(防災科研)他 3名 非静力学モデルと積雪変質モデルを用いた降積雪再現実験 (1) 研究の組み立て [P]
- C109 岩本勉之・中井専人(防災科研)他 3名 非静力学モデルと積雪変質モデルを用いた降積雪再現実験 (2)非静力学モデル [P]
- C110 山口悟・岩本勉之(防災科研)他 3名 非静力学モデルと積雪変質モデルを用いた降積雪再現実験 (3) 積雪変質モデル [P]
- C111 高田伸一(新潟地方気象台) 冬型の気圧配置時における佐渡島の影響
- C112 渡邊明(福島大教育) 降雪量の変動特性について [P]
- C113 杉浦幸之助(地球観測フロンティア)・大畑哲夫(地球観測フロンティア/北大低温研)他 1名 高緯度地帯強風積雪域における Russian Tretyakov 降水量計の捕捉特性 [P]

午後(13:00 ~ 16:30)

降水システム II

座長：川島正行(北大低温研)

- C151 漬水崇博(日大院地球情報) 富士山に発生する笠雲の発生と気象学的考察 [P]
- C152 北島尚子(気象研) 温帯低気圧化末期の台風 0221 号の構造
- C153 二宮洗三(地球フロンティア) 1896 年(明治 29 年)7 月 19-22 日信濃川歴史的な大洪水時の気象状態
- C154 阿部陽二・土屋修一(中央大院)他 1名 レーダー観測による関東平野における降雨分類に関する研究
- C155 虫澤哲夫・田中恵信(気象研)他 2名 雲解像モデルの検証・改良のための梅雨観測 -Baiu Hunter 2003- [P]
- C156 坪木和久・前坂剛(名大地球水循環)他 4名 梅雨前線の小低気圧に伴う降水システムの階層構造 [P]
- C157 内藤大輔・坪木和久(名大地球水循環)他 4名 南西諸島で梅雨期に観測されたセル群列の構造と形成過程 [P]
- C158 野村真奈美・上田博(名大地球水循環)他 12名 梅雨前線に伴う沖繩島を通過した線状降水システムの構造の変化 [P]
- C159 山岬正紀(地球フロンティア) 梅雨前線に伴うクラウドクラスターに関する数値実験：1998 年 6 月 29 日の事例 [P]
- C160 金田幸恵(AESTO)・加藤輝之(気象研)他 2名 長崎半島周辺における停滞性降水帯(諫早ライン)の構造と発達過程に関する研究 ② NHM を用いた数値実験 [P]
- C161 橋本泰子(神戸大自然)・手柴充博(京大宙空電波)他 甌島ラインの発生・維持機構に関する研究
- C162 加藤輝之(気象研)・佐藤芳昭(気象庁数値予報)他 1名 2003 年 7 月 20 日熊本県水俣市で発生した集中豪雨の発生メカニズムその 1：甌島ラインとの関係 [P]
- C163 加藤輝之(気象研)・X-BAIU-99 観測グループ 1999 年 6 月 29 日福岡で豪雨をもたらした寒冷前線と下層ジェット強化機構その 3：前線内の降水セルの発達高度を決定する要因 [P]
- C164 山田広幸・歌野(地球観測フロンティア)他 2名 梅雨期の長江下流域で発生した対流システムの観測～大陸東岸に現れた局地風の役割～ [P]
- C165 山田広幸(地球観測フロンティア)・GAME-Tibet レーダー降水観測グループ GAME-Tibet IOP におけるメソスケール低気圧の出現とレーダーで観測された降雨バンドとの関係 [P]
- C166 牛山朋来・城岡竜一(地球観測フロンティア)他 1名 「みらい」 MR00-K04 航海で観測された ITCZ 降水システムの運動量輸送 [P]
- C167 柴垣俊明(大阪電通大)・古津年章(島根大)他 6名 西スマトラで観測された西進雲システム内の降水システムの特徴 [P]
- C168 大森浩司(環境研)・江守正多(地球フロンティア)他 1名 東南アジア熱帯山岳地域における降水観測と数値解析 [P]
- C169 那須野智江(地球フロンティア)・加藤輝之(気象研) 3 次元雲解像モデルを用いた放射対流平衡実験(第 3 報) [P]

大会第1日〔10月15日〕 D会場

(~~~~)は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:30 ~ 12:00)

大気力学

座長：野田 彰(気象研)

- D101 原田憲二・伊藤久徳(九大院理) 対流圏・成層圏の卓越モード間におけるつながりについての力学的考察 [P]
- D102 渡部雅浩(北大院地球環境) アジアジェット導波管とNAOの下流への伸張 [P]
- D103 田中博(地球フロンティア/筑波大地球科学) 北極振動における力学的固有モードと強制中立モードの解析 [P]
- D104 小澤久(地球フロンティア)・下川信也(防災科研)他1名 地球の気候系における有効位置エネルギーの生成率と散逸率の最大化 [P]
- D105 野田彰(気象研) 回転楕円体上のプリミティブ方程式系
- D106 山本勝(和歌山大教育)・高橋正明(東大気候システム) T21のVenus-like AGCMを用いたスーパー回転の数値実験(その2)
- D107 西井和晃(東大院理)・中村尚(東大院理/地球フロンティア) 下部成層圏からの局所的ロスビー波東の入射による対流圏循環偏差の発達 [P]
- D108 穂積祐・植田洋臣(京大防災研)他1名 大規模山岳風下側に発生する低気圧性渦の数値実験 [P]
- D109 岩山隆寛(神戸大院自然)・Theodore G Shepherd (トロント大) 減衰性2次元乱流における正常自己相似と異常自己相似 [P]
- D110 伊賀啓太(九大応力研) 地衡流ジェットから形成される渦列の渦位の分布について [P]
- D111 三村和男(東海大教養)・松島和宏(東海大工) 鉛直設置された閉ループ内熱対流においてカオスの反転が起こる条件 [P]
- D112 松島和宏(東海大工)・三村和男(東海大教養) 半球規模 β 効果と傾圧性を持つ回転水槽実験 [P]
- D113 酒井大輔・高橋正明(東大気候システム)他1名 GCMを用いた火星極域に存在するドライアイス雲に関する研究 [P]
- D114 黒田剛史・高橋正明(東大気候システム) 火星大気におけるCO₂近赤外太陽光吸収の効果 [P]

午後(13:00 ~ 16:30)

観測手法

座長：佐藤晋介(JAXA/EORC)

- D151 青山雄一(京大宙空電波)・小司禎教(気象研)他2名 富士山頂からのダウンルッキングGPS掩蔽観測実験 - 温度と水蒸気プロファイルの導出 - [P]

- D152 西尾正則・赤崎寿樹(鹿児島大理)他3名 低軌道地球周回衛星の電波を利用した大気水蒸気分布の観測法 [P]
- D153 永井賀広(気象研)・長澤親生(都立大院工)他1名 946 nm波長帯LD励起Nd:YAGレーザーを用いたオゾン・水蒸気・エロゾル同時観測用DIALの開発 [P]
- D154 芝田由香里・蒲生京佳(奈良女子大)他2名 紫外域衛星センターによる対流圏エアロゾル光学特性導出手法 - 直接法の適用 - [P]
- D155 奥勇一郎・石川裕彦(京大防災研)他1名 GMSを用いたチベット高原上の地表面フラックスの算出
- D156 太田茂文・今須良一(東大気候システム)他1名 IMG/ADEOSによる地表面射出率の測定 [P]
- D157 江瀬真人(北大低温研) ADEOS-II/SeaWindsマイクロ波散乱計によって観測された海上風ベクトルの精度評価
- D158 小野塚裕也・菅原広史(防衛大地球)他1名 吊り下げ型超音波風速計の補正について [P]
- D159 Redy Mardiana・Toshio Iguchi(通総研) 他1名 Retrieval of DSD's from Dual-Frequency Radar Measurements without the Use of Surface Reference Technique
- D160 真木雅之・岩波越(防災科研)他12名 偏波間位相差情報を用いた降雨強度、雨水量の3次元分布の測定 [P]
- D161 岩波越(防災科研)・E. Le Bouar(CETP, Fr.)他5名 降雨プロファイリング・アルゴリズム「ZPHI法」のXバンド偏波レーダーデータへの適用 [P]
- D162 飯田泰久・岡本謙一(大阪府立大院)他1名 レーダ・アメダス合成図を用いた太陽同期衛星群5機ならびにTRMM衛星による降雨推定のためのサンプリングシミュレーション(その2)
- D163 古川欣司・佐藤晋介(JAXA/EORC)他4名 GPM主衛星搭載二周波降水レーダー(DPR)の開発 [P]
- D164 出口絵里(大阪府立大院)・Merhala Thurai(通総研)他2名 TRMM衛星降雨レーダにより観測されたブライツバンド高度の統計値
- D165 竹内義明(気象庁数値予報) 高性能赤外サウンダ(AIRS)と高性能マイクロ波サウンダ(AMSU-A)を併用した雲検出 [P]
- D166 足立樹泰(通総研) 通信総合研究所における400MHz帯ウィンドプロファイラのデータ処理法 [P]
- D167 篠野雅彦・水谷耕平(通総研)他1名 成層圏大気風観測のためのインコヒーレントドップラーライダーの開発
- D168 塩川和夫・鈴木臣(名大STE研)他8名 高感度冷却CCDカメラを用いた大気分光温度フォトメータの開発

ポスターセッション [10月15日] 16:40 ~ 18:00

(~~~~は講演者を表す)

概要紹介：A会場

司会：永戸久喜(気象研)

- P101 笹岡雅宏(気象研) 対流境界層における水蒸気プロファイルの推定
- P102 今泉貴嗣(稚内地方気象台)・村山泰啓(通総研) 稚内におけるレーウィンゾンデ・VHF レーダー比較による相関法レーダー風速の誤差評価
- P103 下舞豊志・Zainul Akramin(島根大)他3名 スマトラ・コトタバンにおける水蒸気プロファイルの連続観測
- P104 高橋祐一・篠正和(サンコーシャ)他1名 ドップラーレーダー用風向・風速の解析システム及び3次元データ表示システムの開発
- P105 飯塚康子(総研大)・谷川朋範(筑波大)他5名 2つの計測システムを用いた積雪透過率測定
- P106 堀雅裕(JAXA)・青木輝夫(気象研)他4名 アラスカバローにおけるGLI積雪プロダクトの地上検証観測
- P107 河村洋平(千葉大工)・須賀弓郎(千葉大院自然)他6名 雲粒子観測用95GHz FM-CW レーダの安定性
- P108 久保博(千葉大院自然)・鷹野敏明(千葉大電子光情報基盤技術研究センター)他5名 雲粒子観測用95GHz FM-CW モノスタティックレーダの設計
- P109 藤原正智(北大院地球環境)・塩谷雅人(京大宙空電波)他7名 南米スリナムにおけるMeteorolabor Snow White 水蒸気計とVaisala RS90, RS80との同時比較観測
- P110 遠藤洋和(気象庁気候情報) 2002/03 エルニーニョ現象最盛期の西部太平洋域の対流活動と循環場の特徴
- P111 横田義和・遠藤洋和(気象庁気候情報) エルニーニョ/ラニーニャ現象と台風活動の関連について
- P112 高橋洋(名大院環境)・安成哲三(名大地球水循環) 夏季東南アジアモンスーンにみられる気候学的な中休みの機構
- P113 井上智恵(筑波大院)・井上豊志郎(気象研)他1名 Split Window データを用いた熱帯地域における雲型分類
- P114 本谷研・吉兼隆生(地球フロンティア) 東北日本域における過去25年間の雪水資源量推移について
- P115 関隆則(気象予報士) 東京(大手町)の夜間の冷却率と風速の関係について
- P116 萩野谷成徳(気象研) チベット高原の気候湿度と地表面状態
- P117 佐藤晃(大阪府教育センター)・梶川正弘(秋田大資源)他1名 フィンランド・ソダンキラでの降雪粒子・エアロゾルの観測(その2)
- P118 瀬古弘・小司禎教(気象研)他1名 練馬豪雨をもたらした降水システム(序報)
- P119 三宅里香・清原康友(神戸大自然)他1名 六甲山の気候・気象に関する研究(第1報)
- P120 松下拓樹(自然環境科学研/千葉大院) 関東地方における凍雨の気候学的特徴
- P121 片山勝之・高藪縁(東大気候システム) 熱帯・亜熱帯域の降水システム特性とその日変化
- P122 河内悠・守田治(九大院理) 梅雨前線に沿って東西に並ぶ円形雲クラスターの発達過程(Part2)
- P123 大井淳・余偉明(東北大院理)他1名 首都圏における晴天日に発生した短時間強雨の数値シミュレーション～2001年6月11日の事例～
- P124 小野耕介・山崎孝治(北大院地球環境)他1名 2000年2月20日に北海道西岸沖に発生した小低気圧の構造と発達要因
- P125 塩本耕三・里村雄彦(京大院理) 前線通過時に地形が降水に及ぼす影響
- P126 渡辺啓倫・川野哲也(九大院理) 九州地方における夏季積乱雲(熱雷)の出現特性(その2)
- P127 阿部陽一・土屋修一(中央大院)他1名 関東地方における短時間降雨特性に関する研究
- P128 川口和哉・川野哲也(九大院理)他 梅雨期九州近海上におけるメソ対流系の形態と発生機構
- P129 岩井邦中(信州大教育) 南極昭和基地における雪結晶
- P130 石坂雅昭・中井専入(防災科研)他4名 降雪粒子種の連続観測：降雪のモードとの関係
- P131 折笠成宏・村上正隆(気象研)他3名 X-BAIU02 期間の航空機で得られたAnvilの微物理観測
- P132 森一正・村上正隆(気象研)他3名 一梅雨前線に伴うMCSの航空機観測-X-BAIU02:2002年6月28日の事例(雲物理構造)一
- P133 小嶋正也・吉田幸生(東北大院理)他1名 ヤマセ雲の雲物理構造に関する「高風丸」観測
- P134 大野裕一・黒岩博司(通総研)他8名 APEX-E3 実験における航空機搭載雲レーダ・ライダーの観測速報

ポスターセッション [10月15日] 16:40 ~ 18:00

(~~~~は講演者を表す)

概要紹介：B会場

司会：西森基貴(農環研)

- P135 中野満寿男・中島健介(九大院理) お手軽グリッドモデル構築ツール(GMS)の開発
- P136 佐藤正樹(地球フロンティア/埼玉工大)・金子純子(茨城大)他1名 渦を伴う流れの高精度セミラグランジアン移流スキーム
- P137 武田重夫(気象研) Hillの球形渦類似の流れパターンによるシンプルな対流モデルの検討(その2; 予備的テストとしての「水蒸気」の移流について)
- P138 松本英明・伊藤久徳(九大院理) 傾圧波のない傾圧大気—「純粋な」低周波変動の振る舞い(その2)
- P139 太平満・高橋桂子(地球シミュレータ)他2名 非静力全球大気海洋シミュレーションコードの力学コアの開発
- P140 矢萩智裕(東北大院理)・中根英昭(環境研)他3名 三次元流跡線を用いた等価緯度—温位面上の風系と循環の解析 その2
- P141 宇野幸代・岩崎俊樹(東北大院理) 波動平均流相互作用に基づく大気エネルギー収支診断ツールについて
- P142 杉村剛(名大院理/地球シミュレータ)・高橋桂子(地球シミュレータ)他3名 非静力大気モデルにおける鉛直座標変数配置
- P143 金久博忠(気象大) 対称性を持たない対称不安定
- P144 高橋芳幸・大淵済(地球シミュレータ)他1名 超高解像度大気大循環シミュレーションから得られた水平波数スペクトル
- P145 千葉長・田中泰宙(気象研)他2名 砂の寿命について(平均滞留時間)
- P146 座間公夫・近藤豊(東大先端研)他4名 都市大気におけるエアロゾル総量とエアロゾル含水量—IMPACT集中観測の解析より
- P147 伊藤昭彦(地球フロンティア)・村山昌平(産総研)他2名 生態系モデルを用いた冷温帯落葉広葉樹林におけるCO₂収支のシミュレーション
- P148 野上道守・近藤豊(東大先端研)他2名 都市域における有機性炭素と元素状炭素の挙動
- P149 宮川拓真・近藤豊(東大先端研)他3名 東京における二酸化硫黄、硫酸塩エアロゾル濃度の変動
- P150 松本篤・岩坂泰信(名大院環境)他6名 長距離輸送される土壌エアロゾル粒子(黄砂)の鉱物組成：粒子表面におけるSO₂取り込みへの影響
- P151 太坪利治・長田和雄(名大院環境)他3名 大気エアロゾル粒子の水分と化学成分
- P152 山下克也・林政彦(福岡大)他5名 中国敦煌における境界層エアロゾルの数濃度の鉛直分布と変動
- P153 鈴木一成(農工大)・林和彦(気象庁)他4名 富士山頂における大気エアロゾルの化学成分
- P154 中村憲司・近藤豊(東大先端研)他 冬季東アジア域におけるオゾン生成速度の空間分布—PEACE 航空機観測より
- P155 出生真・柴田清孝(気象研) 気象研究所化学輸送モデルの改良および感度実験 (第2報)
- P156 久保田尚之・城岡竜一(地球観測フロンティア)他5名 パラオ・ペリリュー島におけるモンスーンに対応した対流活動の振舞い
- P157 重尚一(NASDA/EORC)・高藪縁(東大気候システム)他3名 TRMM PR データからの潜熱加熱プロファイルのスペクトル推定パート2: Look-up テーブルの比較
- P158 辻野文剛・山本真之(京大宙空電波)他4名 赤道大気レーダーによる西風パーストの微細構造の観測
- P159 村田文絵・林泰一(京大防災研)他1名 バングラデシュの局地風に関する研究
- P160 K. Krishna Reddy・Ryuichi Shirooka(地球観測フロンティア)他8名 The Palau Lower atmospheric wind profiler: Intercomparison with radiosonde and first mesoscale meteorological case studies
- P161 宮崎保彦(気象衛星センター) 対数螺旋状対流域(2)
- P162 池田泰論・伊藤久徳(九大理) 冬における台風発生の数値シミュレーション[その2]—PVの振る舞いから見た台風の形成とウォームコアの解析—
- P163 植原孝造(防災科研) 大気大循環モデルで再現された熱帯低気圧の長期変動
- P164 東永祥(東海大)・立花義裕(地球フロンティア/東海大)他2名 ラジオゾンデ観測データから見積もられた熱帯陸面上大気のQ1、Q2とNCEP再解析データとの比較
- P165 岩崎杉紀(地球観測フロンティア)・對馬洋子(地球フロンティア)他9名 西太平洋で観測されたsubvisible cirrusの特徴
- P166 阿部雄飛・里村雄彦(京大院理) 冬季の日本付近における温帯低気圧の発生域と通過経路
- P167 酒井晃二・高井博司(岩手県環境保健研究センター)他3名 特異点可視化による気圧場の知見探索(オホーツク海高気圧と低気圧発達への適用)
- P168 岩尾航希・廣岡俊彦(九大理) 等温位面上の渦位を用いたオゾンのマッピング
- P169 松村美沙子・廣岡俊彦(九大理) 中層大気における空気塊の輸送についての解析
- P170 樋井哲央・植田洋匡(京大防災研)他1名 MUレーダーを用いた自由大気中の乱流拡散に関する研究

大会第2日 [10月16日] 09:15 ~ 12:00

(〰は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

A 会場

気象予報

座長：小司禎教(気象研)

- A201 宮田望(地球フロンティア)・後藤浩二(NEC)他 1名 正二十面体格子全球雲解像モデル NICAM の開発 [P]
- A202 吉村裕正(気象研)・松村崇行(気象庁数値予報) 2タイムレベルセミラグランジュ法の開発
- A203 彭新東(地球シミュレータ)・肖鋒(東工大院)他 1名 全球 Yin-Yang グリッドにおける保存セミ・ラグランジュ移流 [P]
- A204 室井ちあし(気象研) 全球高解像度モデルに適した格子系の検討 -立方体モデルの試作- [P]
- A205 山崎陽介(AESTO)・斉藤和雄(気象庁数値予報) 気象庁非静力モデルの円筒正距投影法への対応 [P]
- A206 熊谷幸造・斉藤和雄(気象庁数値予報)他 2名 気象庁非静力学モデルの陸上の地表面過程の改良 [P]
- A207 野原大輔(筑波大陸域環境)・田中博(筑波大地球科学) 初期値の誤差の成長に対する境界条件の役割 [P]
- A208 太淵澁・高橋芳幸(地球シミュレータ)他 1名 大気大循環モデル中での対流性降雨とグリッド凝結降雨の比の積雲対流パラメタリゼーションと解像度に対する感度 [P]
- A209 榎本剛(地球フロンティア)・大淵澁(地球シミュレータ)他 2名 2002年8月に欧州で発生した切離低気圧に対する大西洋上の熱帯低気圧の影響 [P]
- A210 益子渉・室井ちあし(気象研) 2way 多重移動格子モデルを用いた台風の前報実験 [P]
- A211 林修吾・加藤輝之(気象研)他 2名 非静力学モデル(JMA-NHM)を用いた発雷予測(その2)-電荷予測と不安定指数予測の観測との比較- [P]
- A212 本田有機(気象庁数値予報)・川畑拓矢(気象研)他 4名 -JNoVA 開発報告(第1報)-湿りを考慮しない非静力学4次元変分法解析モデル [P]
- A213 田宮久一郎(気象研) 変分法データ同化におけるペナルティ項の形と収束の速さ
- A214 新堀敏基・小泉耕(気象庁数値予報) 領域4次元変分法による解析予報サイクル実験 [P]
- A215 小司禎教・川畑拓矢(気象研)他 4名 富士山頂で観測されたGPSダウンルッキングデータの4次元変分法による気象庁メソスケールモデルへの同化実験(序報) [P]

B 会場

気候システムII

座長：本田明治(地球フロンティア)

- B201 宮田望(ウェザーニューズ) 地域気象キャスターの役割と今後 [P]
- B202 竹下伸一・三野徹(京大院農) 京都盆地内3地点における気象要素の経年変化
- B203 杉原敏夫・力石國男(弘前大理工) 十勝平野の降雪と大気循環との関係 [P]
- B204 立花義裕(地球フロンティア/東海大)・小川寛子(東海大)他 3名 霧を伴わないオホーツク海高気圧と伴う場合の大気海洋相互作用の違い-ロシア船クロモフによる大気海洋観測結果- [P]
- B205 加藤内藤進・野林雅史(岡山大教育) 北日本における2001年7月下旬からの冷夏への移行に関する事例解析
- B206 山崎信雄(気象研)・勝山税(気象庁) 東京における時間降水量の極値の長期傾向 [P]
- B207 藤部文昭・山崎信雄(気象研)他 1名 日本における降水頻度の時刻別比率の経年変化
- B208 遠藤伸彦(地球フロンティア)・安成哲三(名大地球水循環/地球フロンティア) 東アジアにおける夏季降水量と強雨の出現頻度の長期的な変動傾向 [P]
- B209 一柳錦平(地球観測フロンティア)・村治能孝(エナジシェアリング)他 1名 ネパール全域の10年間降水量の解析
- B210 高橋清利(気象研) 中国地上気象記録資料による現在気候シミュレーションの検証 [P]
- B211 吉兼隆生(地球フロンティア)・木村富士男(地球フロンティア/筑波大) 梅雨期と秋雨期の日本周辺における極向き水蒸気輸送の特徴
- B212 山崎剛・門田勤(地球観測フロンティア)他 1名 モンゴルにおける水・熱収支に関する予備的研究 [P]
- B213 門倉真二・加藤央之(電中研) 気象要素の確率密度関数推定のための統計的手法
- B214 甲斐千尋・杉原崇文(東洋大生命科学)他 1名 気象変動におけるフラクタル的情報構造に関する研究-関東地方における降雪の前兆現象について-

大会第2日 [10月16日] 09:15 ~ 12:00

(〰は講演者を表す. [P]=プロジェクター使用予定)

C 会場

降水システムⅢ

座長: 折笠成宏(気象研)

- C201 小西啓之・土橋千恵(大阪教育大)他2名 2002年5月26日に阪神間で観測された雹の特徴
- C202 佐々木佳明・菊地勝弘(秋田県立大生物資源)他3名 2002年10月4日秋田付近を通過した寒冷前線の解析
- C203 野田曉(東北大理)・新野宏(東大海洋研) スーパーセル型積乱雲に伴う竜巻の発生機構とその構造 [P]
- C204 山根悠介(京大院理)・林泰一(京大防災研) バングラデシュの竜巻に関する研究 [P]
- C205 安永教明(AESTO)・木田秀次(京大院理)他1名 スコールラインの発達に対する中層の安定層の影響 [P]
- C206 三隅良平・圓山憲一(防災科研)他4名 下層収束による積乱雲の降水強化ーピン法雲モデルを用いた数値実験ー
- C207 山脇沢人・石坂隆(名大地球水循環)他 巨大雲粒核が雲底付近の雲粒に及ぼす影響について [P]
- C208 久茂奈遠美(地球フロンティア) 雲微物理モデルを組み込んだ雲シミュレーション(その4)ー巨大粒子CCNが雲の降水形成効率に及ぼす影響ー [P]
- C209 和田英子・橋口浩之(京大宙空電波)他3名 ミリ波ドップラーレーダーと MU レーダーによる巻雲の観測 [P]
- C210 橋本明弘(AESTO)・村上正隆(気象研)他3名 雲水・雨水 2-moment スキームの特性ーやませ下層雲に対するインパクトー [P]
- C211 小林隆久・笹岡雅宏(気象研)他1名 TRMM 降雨レーダーの降水観測における雨滴粒径分布の影響ーウィンドプロファイラーとの同時観測ー
- C212 高橋暢宏・花土弘(通総研)他1名 TRMM/PR の地表面エコプロファイルを用いたフットプリント内の減衰の変動の推定 [P]
- C213 Sang-Goon Park・Masayuki Maki(防災科研)他3名 Rainfall Estimation Immune to Raindrop Shape at X-band Polarimetric Radar [P]
- C214 M. Thurai・H. Hanado(通総研) N-N MODEL EVALUATION USING CAMPR DATA: A CASE STUDY AT 13.8 GHZ [P]
- C215 山根彩子(福島地方气象台)・水野量(気象大) ウィンドプロファイラーデータによる融解層の検出 [P]

D 会場

物質循環 I

座長: 兼保直樹(産総研)

- D201 堤之賀・吉田雅司(気象庁環境気象)他5名 2002年春期の日本上空の地域によるエアロゾル光学的厚さとオングストローム指数の違いについて [P]
- D202 山田丸・岩坂泰信(名大院環境)他11名 2003年春、敦煌上空で直接採集したエアロゾル粒子の電子顕微鏡観察: 特に微小粒子($d < 1\mu\text{m}$)に注目した結果
- D203 荒生公雄(長崎大環境)・石坂丞二(長崎大水産)他3名 東シナ海域および雲仙岳山頂における黄砂現象の観測
- D204 石黒丈士・白石浩一(福岡大理)他1名 2003年春季福岡上空で観測された風送ダストについて [P]
- D205 杉本伸夫・松井一郎(環境研)他5名 2003年春の黄砂現象の解析: 偏光ライダーによる連続観測 [P]
- D206 山本真(国土環境)・黒崎泰典(気象研)他4名 衛星リモートセンシングデータによる中国北西部の土地被覆分類の試み [P]
- D207 原由香里・佐竹晋輔(九大院総理工)他2名 黄砂の発生・輸送過程の年々変動のモデルシミュレーションと気象因子の解析
- D208 鶴野伊津志(九大応力研)・江守正多(地球フロンティア)他2名 ネステイングダストモデルの開発とアジア域への応用 [P]
- D209 佐竹晋輔(九大院総理工)・鶴野伊津志(九大応力研)他1名 対流圏物質輸送モデルとC130観測データ解析から示されたダストの3次元輸送構造
- D210 Deepak Aryal(CDHM Tribhuvan Univ., Nepal)・Yutaka Ishizaka(名大地球水循環)他5名 Number Concentration and Elemental Composition of Aerosol Particles in the Marine Boundary Layer over the Sea of the South of Kyushu, Japan [P]
- D211 清水厚・杉本伸夫(環境研)他1名 タイにおける対流圏エアロゾル・雲のライダーによる気候学的観測 [P]
- D212 浜田智志(鹿児島大理)・張代洲(熊本県立大環境共生) 西日本の沿岸において SO_2 濃度に強く影響を及ぼす発生源 [P]
- D213 新村典子・三浦和彦(東京理大理)他1名 海洋大気における鉱物エアロゾルと海塩の変質について [P]
- D214 三浦和彦・岡田誠(東京理大理)他2名 MR03-K01 航海で測定した海洋大気エアロゾルの湿度特性 [P]
- D215 兼保直樹・古賀聖治(産総研)他2名 太平洋上に輸送されるアジア大陸起源エアロゾルの晴天時放射強制力ー父島における事例解析ー [P]

大会第3日〔10月17日〕 A会場

(〰)は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:15 ~ 11:00)

スペシャルセッション

「衛星からの大気観測 ~日本の貢献と将来展望~」I

座長：笠井康子(通総研)

- A301 中島英彰・杉田考史(環境研)他 3名 衛星からの大気観測-日本の貢献と将来展望- [P]
- A302 横田達也・杉田考史(環境研)他 4名 太陽掩蔽法衛星センサの現状と将来 [P]
- A303 寺尾有希夫・笹野泰弘(環境研)他 1名 人工衛星観測データから得られた極域成層圏オゾン減少量 [P]
- A304 入江仁士・杉田考史(環境研)他 1名 極域成層圏における水蒸気増加が窒素酸化物の除去過程に与える影響評価-人工衛星観測の役割- [P]
- A305 齋藤尚子・中島英彰(環境研)他 2名 衛星による極成層圏雲 PSCs の観測- SAM II から ILAS-II 観測まで- [P]
- A306 江尻省(環境研)・Farahnaz Khosrawi (Forschungszentrum Julich)他 2名 ILAS、ILAS-II で観測された CFC-12 [P]
- A307 杉田考史・中島英彰(環境研)他 7名 ILAS-II データ質の初期的評価 [P]

午後(13:30 ~ 17:00)

スペシャルセッション

「衛星からの大気観測 ~日本の貢献と将来展望~」II

座長：塩谷雅人(京大宙空電波)

- A351 秋吉英治・杉田考史(環境研)他 11名 ILAS と CCSR/NIES ナッジング CTM を用いた 1997 年の北極域成層圏に関する研究 [P]
- A352 林田佐賀子・池田奈生(奈良女子大)他 2名 極域オゾン破壊における ClONO₂ の果たす役割 [P]
- A353 河本望(NASDA/EORC)・廣岡俊彦(九大院理)他 1名 大気大循環モデル中のオゾン場に見られる北半球夏季の波動成分について
- A354 庭野将徳(京大院理) 衛星微量成分データを用いた熱帯対流圏界面域の研究~水蒸気および巻雲観測から得られた力学的な知見~
- A355 江口菜穂(北大院地球環境)・塩谷雅人(京大宙空電波) 上部対流圏における水蒸気変動~ UARS MLS によるこれまでの成果~ [P]
- A356 笠井康子・増子治信(通総研)他 18名 ミリ波サブミリ波サウンダによる衛星からの大気観測
- A357 稲谷順司・佐藤亮太(JAXA)他 17名 超伝導サブミリ波リム放射サウンダ SMILES の進捗とミリ波サブミリ波による大気観測の展望

座長：中島英彰(環境研)

- A358 今須良一・太田芳文(東大気候システム)他 1名 衛星搭載熱赤外分光放射計による CO₂ 濃度の測定 [P]
- A359 石井農彦・水谷耕平(通総研)他 5名 衛星搭載コヒーレントライダーによる大気観測 [P]
- A360 鈴木睦・奥村真一郎(NASDA/EORC)他 7名 静止衛星からの次世代大気科学観測 -衛星構想- [P]
- A361 奥村真一郎・鈴木睦(NASDA/EORC)他 2名 静止衛星からの次世代大気科学観測 -紫外可視分光計- [P]
- A362 吉田重臣・鈴木睦(NASDA/EORC)他 2名 静止衛星からの次世代大気科学観測 -紫外可視イメージャー [P]
- A363 高橋幸弘(東北大)・牛尾知雄(大阪府立大)他 4名 静止衛星からの次世代大気科学観測 -雷観測- [P]

大会第3日〔10月17日〕 B会場

(〰は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:15 ~ 11:00)

熱帯大気

座長：藤原正智(北大院地球環境)

- B301 横井寛・里村雄彦(京大院理) ベンガル湾上の西進擾乱の通過緯度による差異 [P]
- B302 Tri Handoko Seto・Masayuki K. Yamamoto(京大宙空電波)他2名 Convections Correlated with Intraseasonal Variations over Sumatera, Indonesia Observed with the EAR [P]
- B303 山本真之・堀之内武(京大宙空電波)他5名 熱帯対流圏界面の短周期変動 [P]
- B304 藤原正智(北大院地球環境)・謝尚平(ハワイ大)他6名 熱帯東太平洋において観測された上部対流圏逆転層と東風ジェット
- B305 西憲敬(京大理)・Tri Handoko Seto(京大宙空電波)他3名 インドネシア域上部対流圏循環における鉛直微細構造の解析 [P]
- B306 菊地一佳・高薮縁(東大気候システム) TOGA COARE 期間中の MJO に伴う対流システム発達過程に見られる3段階構造 [P]
- B307 中島健介(九大) 大領域2次元積雲モデルの自然変動 [P]
- B308 森修二・濱田純一(地球観測フロンティア)他1名 みらい(MR03-K03)で観測された東インド洋における対流活動について [P]
- B309 米山邦夫・勝俣昌己(海洋科学技術センター) 暖水プール域における対流不活発期の水蒸気分布の特徴 [P]
- B310 勝俣昌己・米山邦夫(海洋科学技術センター) 「みらい」2N138E 観測点における降水雲の日変化について

午後(13:30 ~ 17:00)

気候システムⅢ

座長：遠藤伸彦(地球フロンティア)

- B351 森山茂・高原光子(日大生産工) 閉鎖生態系の動態に関する研究(その3)-レジームシフト- [P]
- B352 廣生稔(産総研)・石田厚(森林総研)他5名 熱帯林生態系における炭素循環のパラメタリゼーション
- B353 岩下広和・三枝信子(産総研)他5名 カナダ、亜寒帯林の炭素収支に及ぼす土壌水分の影響-樹冠の開けた皆伐後幼齢林の応答- [P]
- B354 宮坂貴文・中村尚(東大院理) 夏季北半球の亜熱帯高気圧と対流圏プラネタリー波

- B355 中村卓也・木本昌秀(東大気候システム)他1名 T106 鉛直56層大気大循環モデルで再現されたモンスーン域の季節内振動 [P]
- B356 梶玉安正・太田明宏(弘前大理工)他4名 TRMM で観測された降雨と雷活動の季節変化 [P]
- B357 Sajani Surendran・Tetsuo Nakazawa(気象研) 2002 Indian summer monsoon characteristics as inferred from TRMM/SSM/I and QuikSCAT products [P]
- B358 荻村圭(東大生産研)・沖大幹(地球研)他1名 水蒸気起源の変動と雨域・風系の時系列変化 [P]
- B359 梶原慶樹(地球フロンティア)・安成哲三(名大地球水循環) 東部インド洋上の Submonthly スケールの南風サージと中緯度-熱帯相互作用
- B360 野津雅人・荻野慎也(神戸大自然)他2名 インドシナ半島上空における大気安定度の季節内変動をもたらす総規模擾乱の構造

座長：高橋清利(気象研)

- B361 Karumuri Ashok・Zhaoyong Guan(地球フロンティア)他1名 THE AUSTRALIAN WINTER CLIMATE : INDIAN OCEAN CONNECTION [P]
- B362 Swadhin Behera・Jingjia Luo(地球フロンティア)他5名 The Indian Ocean Dipole impact on the East African Short Rains: A CGCM Study [P]
- B363 近本喜光・谷本陽一(北大院地球環境) ENSO 時におけるカリブ海周辺の潜熱フラックス変動とその要因 [P]
- B364 植田宏昭(筑波大)・篠田雅人(都立大)他1名 ユーラシア大陸上の大気陸面相互作用について [P]
- B365 堀正岳(筑波大地球科学) ユーラシア大陸上の積雪季節進行とアジアモンスーンとの関係 [P]
- B366 小木雅世(北大院地球環境)・山崎孝治(北大院地球環境/地球フロンティア)他1名 北半球環状モード(NAM)の季節変化と冬から夏への連関
- B367 小木雅世(北大院地球環境)・山崎孝治(北大院地球環境/地球フロンティア)他1名 冬季北大西洋振動(NAO)の夏季大気循環への影響についての太陽周期による変動
- B368 本田明治・山根省三(地球フロンティア)他1名 冬季北半球循環場に卓越する変動の特徴-長期変化傾向と季節依存性- [P]
- B369 黒田友二(気象研) 極夜ジェット振動形成における子午面循環の役割 [P]

大会第3日〔10月17日〕 C会場

(〰は講演者を表す。[P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:15 ~ 11:00)

放射

座長：岩淵弘信(地球フロンティア)

- C301 深堀正志・青木忠生(気象研)他 1名 室温及び低温下におけるCO₂ v₃帯の吸収線強度及び半値半幅の測定 [P]
- C302 藤枝鋼・深堀正志(気象研)他 2名 室温下におけるCH₄のv₃帯吸収線強度と半値半幅の測定 [P]
- C303 大朝由美子・菊地信宏(NASDA/EORC)他 2名 ADEOS/IMG データによる雲の放射の研究
- C304 岩淵弘信(地球フロンティア) 放射の水平収束・発散を考慮した雲の上向き放射輝度の近似計算
- C305 真野裕三・岡田菊夫(気象研) 鉍物エアロゾル粒子の表面の凹凸と散乱特性
- C306 青木一真(富山大教育)・中島映至(東大気候システム)他 SKYNET Sky radiometer 観測によるエアロゾルの光学的特性 [P]
- C307 山崎明宏・内山明博(気象研)他 2名 ADEC-IOP2, APEX-E3 でのスカイラジオメーター観測
- C308 Pradeep Khatri(名大院環境)・Yutaka Ishizaka(名大地球水循環)他 1名 Numerical estimation on optical parameters of East Asian aerosols [P]

午後(13:30 ~ 17:00)

中層大気

座長：渡辺真吾(地球フロンティア)

- C351 山森美穂(通総研)・佐藤薫(極地研) 南半球中緯度太平洋上の重力波のレイトレーシング [P]
- C352 森明子・廣岡俊彦(九大理)他 1名 南半球 2002年冬季における成層圏突然昇温の予測可能性 [P]
- C353 坂野井和代・村山泰啓(通総研)他 5名 冬期北極域における中間圏風速・温度変動と成層圏プラネタリー波活動の関係 [P]
- C354 磯田綾子・津田敏隆(京大宙空電波)他 1名 流星レーダー、MF レーダーによって観測された低緯度中間圏界面付近における季節内振動 [P]
- C355 廣岡俊彦・森明子(九大理)他 2名 夏季の上部成層圏における大気潮汐について [P]
- C356 渡辺真吾(地球フロンティア)・吉川実(富士総研)他 1名 中間圏-下部熱圏領域における渦拡散係数の見積もり：大気大循環モデルの風を用いたラグランジュ輸送実験から [P]

中高緯度大気

座長：荒井美紀(東大気候システム)

- C357 木村詞明(北大低温研) 南極沿岸域での海水生成量
- C358 坂本圭・高橋正明(東大気候システム) 上層寒冷低気圧(UCL)の上昇流の構造と南東側の対流雲域 [P]
- C359 荒井美紀・木本昌秀(東大気候システム) 夏季の北西太平洋域に観測されるブロッキングの経年変化 [P]
- C360 山下景子(北大院地球環境)・向川均(京大防災研)他 1名 総観規模擾乱と対流圏界面高度の季節内長周期変動
- C361 太田琢麿(仙台管区気象台) 2001年7月25日~29日に発現したヤマセの気流構造に関する数値的解析
- C362 高井博司(岩手県環境保健研究センター)・川村宏(東北大院理) マイクロ波散乱計データを用いたヤマセ時の海上風分布に関する研究(3)-東北地方全域の気温変動と海上の風向・風速との関係- [P]

環境気象

座長：山本 哲(気象研)

- C363 松下勇二郎・町村尚(大阪大工)他 2名 植物種と灌水による屋上緑化面の熱収支と蒸発効率の変化 [P]
- C364 山本哲・佐々木秀孝(気象研)他 2名 高解像度数値気象モデルに基づく1977年有珠山噴火降灰シミュレーション(2)水平解像度1kmの数値気象モデルによる計算
- C365 市川陽二・神崎隆男(電中研) ダウンドラフト時の乱流特性を考慮した大気拡散予測
- C366 坪田幸政(慶應義塾高)・川嶋弘高(慶應義塾大) 道路交通に起因する大気汚染予測の精度 [P]
- C367 横堀誠(茨城県林業技術センター) 暴風警報の発令と街路樹風倒の状況-筑波研究学園都市での7年間・9事例-
- C368 Yukiko Wagatsuma(ICDDR,B)・Tajichi Hayashi(京大防災研)他 4名 Relationship between Meteorological Elements and Diarrhoeal Diseases in Bangladesh [P]

大会第3日 [10月17日] D会場

(〰は講演者を表す, [P]=プロジェクター使用予定)

午前(09:15 ~ 11:00)

物質循環Ⅱ

座長: 和田 誠(極地研)

- D301 和田誠(極地研)・猪原哲(佐賀大)他 1 名 南極昭和基地でのエアロゾル観測
- D302 猪上淳(Georgia Tech)・豊田威信(北大)他 9 名 オホーツク海上のエアロゾルの観測 [P]
- D303 竹村俊彦(九大応力研)・野沢徹(環境研)他 1 名 全球 3 次元エアロゾル輸送・放射モデルを用いた雲・エアロゾル相互作用のパラメタリゼーション [P]
- D304 須藤健悟・秋元肇(地球フロンティア)他 3 名 対流圏オゾン・硫酸エアロゾル全球分布の将来予測実験 [P]
- D305 近藤豊(東大先端研)・小池真(東大理)他 6 名 都市大気中でのエアロゾル化学過程の研究 IMPACT 計画 [P]
- D306 宮崎雄三・近藤豊(東大先端研)他 1 名 都市大気における無機エアロゾル成分の短時間変動 [P]
- D307 森野悠・近藤豊(東大先端研)他 8 名 都市大気中における硝酸、および硝酸塩エアロゾル濃度の挙動に関する研究 [P]
- D308 梶野瑞王(京大防災研)・Wilfried Winiwarter(IIASA・ウィーン工科大) ヨーロッパにおける PM 観測値の含水量 [P]
- D356 石島健太郎(東北大院理)・村山昌平(産総研)他 6 名 フィルン空気より推定された過去の大気中 N_2O の濃度及び同位体の変動 [P]
- D357 菅原敏(宮城教育大)・川村賢二(ベルン大・CEP)他 3 名 NGRIP フィルン空気をを用いた過去の SF_6 濃度の推定
- D358 木立博・石川陽一(宮城県原子力センター)他 4 名 環境 γ 線線量率の変動に影響を与える天然放射性核種の発生源及び移動経路のバックトラジェクトリ解析
- D359 太倉毅史・山澤弘実(名大院工) 洋上の孤島における大気中 Radon-222 濃度変動の後方流跡線解析 [P]
- D360 平尾茂一・山澤弘実(名大院工)他 2 名 広域大気輸送モデルの開発と東アジア域ラドン濃度による検証 [P]
- D361 八代尚(東北大院理)・菅原敏(宮城教育大)他 2 名 西太平洋上における対流圏 CO 濃度の変動 [P]
- D362 大島長・小池真(東大理)他 9 名 春季西太平洋で観測された自由対流圏中での人為起源物質の増大(その2) PEACE-B 航空機観測 [P]
- D363 北和之・佐藤弘樹(茨城大)他 7 名 タイ春季におけるオゾン高度分布観測(1): 下部対流圏のオゾン増大 [P]
- D364 松田和秀・戸塚積(酸性雨研究センター)他 2 名 タイ北部熱帯林におけるオゾンフラックス観測
- D365 神代剛(富士通 FIP/通総研)・遠藤真紀(東大理)他 4 名 アラスカ・ポーカーフラットにおけるフーリエ変換型赤外分光計を用いた中間圏 CO の観測 [P]
- D366 香川晶子(富士通エフ・アイ・ピー/通総研)・笠井康子(通総研)他 4 名 アラスカ・ポーカーフラット上空における成層圏大気微量成分の観測 [P]
- D367 黒川純一(富士通エフ・アイ・ピー)・秋吉英治(環境研)他 5 名 大気球面形状の考慮が南極域成層圏化学過程及び気象場に与える影響—ナッジング化学輸送モデル及び化学気候モデルを用いた考察— [P]
- D368 宮崎和幸・岩崎俊樹(東北大院理)他 1 名 子午面輸送方程式による成層圏オゾン輸送特性の解析
- D369 Zhou Libo・秋吉英治(環境研) Comparison of vortex remnant decay between the early and late Arctic vortex breakdown years obtained by potential vorticity and N_2O [P]

午後(13:30 ~ 17:00)

物質循環Ⅲ

座長: 石澤みさ(地球フロンティア)

- D351 近藤裕昭(産総研)・下山宏(環境研)他 5 名 CO_2 鉛直分布を構成した気塊のバックトラジェクトリ解析 [P]
- D352 小田知宏・町村尚(大阪大工)他 2 名 大気濃度の定点連続観測による陸域二酸化炭素ソース・シンク広域マッピングの可能性 [P]
- D353 石澤みさ・Shamil Maksyutov(地球フロンティア)他 1 名 大気中 CO_2 濃度の年々変動—気候変化に伴う陸上生態系と大気輸送場変動の寄与— [P]
- D354 長浜賀生・中根英昭(環境研)他 1 名 地上 FTIR を用いた太陽光吸収スペクトル観測による CO_2 カラム平均濃度の解析 [P]
- D355 石戸谷重之(東北大院理)・川村賢二(ベルン大)他 7 名 南極およびグリーンランド氷床で採取されたフィルン空気の酸素濃度とそれにより推定された地球規模の二酸化炭素収支 [P]

ポスターセッション [10月17日] 11:10 ~ 12:30

(~~~~は講演者を表す)

概要紹介：A会場

司会：藤部文昭(気象研)

- P301 藤吉康志(北大低温研) 北大低温研の気象・海洋新観測システムの紹介
- P302 石元裕史・山本哲(気象研)他2名 霧画像を用いた消散係数と有効半径の推定
- P303 木下宜幸(気象研)・林孝明(カイジョー)他2名 3cm スパン超音波風速計の風洞試験への適応性
- P304 木下宜幸(気象研)・堀晃浩(気象環境サービス) 応答速度の速い水蒸気センサを用いずに水蒸気乱流輸送量を渦相関で測定する方法について
- P305 落合啓・入交芳久(通総研)他4名 アラスカ ポーカークラットでの成層圏 O₃ と ClO のミリ波観測
- P306 関澤信也・足立樹泰(通総研) M 系列によるパルス圧縮法を用いたパルスレーダに与えるクラッタの影響
- P307 岡本謙一(大阪府立大)・井口俊夫(通総研)他18名 戦略的創造研究推進事業(CREST) 水の循環系モデリングと利用システム「衛星による高精度高分解能全球降水マップの作成」研究概要
- P308 鈴木睦・奥村真一郎(NASDA/EORC)他7名 静止衛星からの次世代大気観測について
- P309 Carmen Verdes・Stefan Buehler(プレーメン大)他2名 Deriving atmospheric temperature and instrumental pointing from limb sounding instruments.
- P310 笹岡雅宏(気象研) エントレインメント速度と水蒸気鉛直フラックスの推定
- P311 高村陽子・木田秀次(京大院理) 2次元放射モデルを用いた古気候研究(2)
- P312 永井信(名大院環境)・市井和仁(名大院工)他1名 ENSO による植生変動への影響と気候変動との関連
- P313 井上豊志郎(気象研) 下層雲と気象要素の解析(I)
- P314 高橋信人(東北大院理) 夏季モンスーン期の台風活動に伴う大気下層の循環場の変化
- P315 小守信正・高橋桂子(地球シミュレータ)他 地球シミュレータ用大気海洋海水結合モデル CFES の開発
- P316 一柳鏡平(地球観測フロンティア)・芳村圭(東大生産研)他1名 インドネシア・スマトラ島における降水の起源について
- P317 市野美夏(お茶の水女子大院人間文化研) 歴史時代の日記天候記録による全天日射量推定法の開発
- P318 粕谷英行(北大院地球環境)・藤吉康志(北大低温研) 夏季北極海域で見られる雲・降水の水平・鉛直構造
- P319 近藤善美・中村健治(名大地球水循環) 熱帯域における GMS 輝度温度と TRMM PR 降水強度との関係
- P320 河崎善一郎・園田陽一(大阪大院)他2名 雷活動で見た 2003 年 7 月の九州集中豪雨
- P321 横森淳二・高毅緑(東大気候システム) ソンデデータによる熱帯海洋上での対流と CAPE についての考察
- P322 吉田一穂(北大院地球環境)・藤吉康志(北大低温研) 夏の北極海の熱収支について
- P323 足立透・福西浩(東北大院理)他3名 日本における冬季スプライトと雷・雷雲の関係
- P324 青梨和正(気象研)・今岡啓治(NASDA/EORC)他 石垣島降水検証観測計画(MYCAM)について
- P325 生尾知雄・岡本謙一(大阪府立大)他3名 LDAR データを用いた雷放電と積乱雲の挙動とブロードバンドレーダの開発
- P326 森本健志・川辺良太(大阪大院)他3名 雷嵐観測用 VHF 波帯広域干渉計の開発(4) ー放電開始点の降雨粒子ー
- P327 秋元文江・山本宗尚(名大地球水循環)他1名 TRMM PR と TMI の陸上降水推定の比較
- P328 佐々木華織(東北農業研究センター)・清川ダシ観測グループ 山形県庄内地方に発生する局地風清川ダシの現地気象観測(3)ー風速分布ー
- P329 大鐘卓哉(小樽市青少年科学技術館) 岩手県山田湾における蟹気楼の研究報告
- P330 竹見哲也(大阪大工) 水蒸気プロファイルが及ぼす中緯度スコールラインの力学への影響
- P331 高橋颯宏・中川勝広(通総研)他2名 通信総研 沖繩偏波レーダ(COBRA)による台風の観測ー 2002 年 7 月 3 日観測した台風 5 号のケースー
- P332 小西啓之・白井亮吾(大阪教育大)他1名 粒径分布の時間変化から見た降雪粒子の特徴
- P333 石渡宏臣・小林文明(防大地球科学)他 冬季日本海で発生するメソスケール渦に伴う突風の構造
- P334 横尾守昭(気象大) メソ気象に関する解析と予測技術の共有化に向けて(その 1)ーメソ気象に関わる大気構造の分類の試みー
- P335 Jive Zeng(地球・人間環境フォーラム)・Yasumi Fujinuma(環境研) 他2名 A Comparison of Meteorological Datasets for Applying Air Trajectory to Data Analysis in Atmospheric Monitoring

ポスターセッション [10月17日] 11:10 ~ 12:30

(~~~~は講演者を表す)

概要紹介：B会場

司会：平沢尚彦(極地研)

- P336 高木敏明・和田将一(東芝)他 2 名 雲解像モデル CReSS のレーダデータ同化を導入した予報実験
- P337 吉田保衡(九大院総理工)・松井聖(北海道ビジネスオートメーション)他 1 名 2001 年における九州地域の気象場の通年計算と再現性の統計的評価
- P338 深尾一仁・大澤輝夫(岐阜大院工)他 4 名 MMS を用いた局地気象予測の可能性に関する検討
- P339 村田昭彦・上野充(気象研) 積雲パラメタリゼーションで再現された大規模場の雲解像モデルによる検証
- P340 瀬古弘・露木義(気象研)他 1 名 JNoVA0(NHM-3DVar システム)を用いたドップラーレーダ動径風の同化実験(序報)
- P341 川畑拓矢(気象研)・本田有機(気象庁数値予報)他 4 名 - JNoVA:4DVAR 開発報告(第 2 報) - NHM-4DVAR を用いた観測データ同化実験
- P342 平沢正信(気象研) 強雨域の検出・追跡ソフトの開発とその利用(2)
- P343 西畑秀則・岩崎俊樹(東北大院理) 天候デリバティブの価格決定問題への気象庁発表 1 か月予報の利用について
- P344 Rosbintarti Kartika Lestari・Toshiaki Iwasaki(東北大院理) A Preliminary GCM Study of the Monsoon over Maritime Continent Regions
- P345 千葉長・折戸光太郎(気象研)他 2 名 赤道準二年振動とオゾン変動
- P346 太平智章(東京理科大)・藤田慎一(電中研) 東アジアにおける主要化学成分の物質収支の推定(2)～洗浄比による比較検討～
- P347 姉貴千春・菅原敏(宮城教育大)他 4 名 NGRIP フィルン空気中のメタン濃度の解析
- P348 猪股弥生・岩坂泰信(名大院環境)他 3 名 アジア-北極域下部成層圏における硫化カルボニル(COS)の濃度の緯度分布
- P349 藤田慎一(電中研)・大平智章(東京理科大)他 1 名 東アジアにおけるアンモニウムイオンの湿性沈着量
- P350 佐々井崇博(名大院環境)・市井和仁(名大院工)他 1 名 陸域生物圏モデルによる NPP の推定：植生の成長過程における環境応答の定量化
- P351 市井和仁(名大院工)・原田美香(名大院環境)他 2 名 全球における植生活動と気候変動の関連：衛星データと陸域植生モデルによる解析
- P352 酒井哲(日本学術振興会/気象研)・永井智広(気象研)他 2 名 ラマンライダーで観測した寒冷前線通過時の水蒸気・エアロゾルの鉛直構造
- P353 鈴木香表恵(総研大)・山内恭(極地研/総研大)他 1 名 南極・昭和基地及びドームふじにおける水蒸気輸送の季節変動
- P354 堤之智・大野智生(気象庁環境気象)他 7 名 5 月下旬に北日本で起こった高い大気混濁度の原因について
- P355 中村和正(筑波大院環境科学)・若松伸司(環境研/筑波大地球科学)他 2 名 関東地方及び福島県・山梨県における光化学オキシダント日最高値出現頻度の経年変動解析
- P356 五十嵐康人(気象研)・吉岡勝廣(島根県保環研)他 5 名 ^{10}Be と ^{222}Rn を大気トレーサーとして利用した富士山頂での大気化学観測
- P357 菅原広史(防大)・三上岳彦(都立大) 都市キャノピー内における降水量の測定誤差
- P358 漬野直子(気象研) タリム盆地付近のダストストームと局地循環(第 2 報)
- P359 綾城陽介・福田寿(CRC ソリューションズ)他 6 名 風力発電支援のための全国風況データベースの開発
- P360 本庄薫(富山大院教育)・市瀬和義(富山大教育)他 4 名 琵琶湖における蟹気楼の発生理由 II
- P361 木下正博(滑川高)・市瀬和義(富山大教育)他 2 名 富山湾における蟹気楼の発生理由 V ～上暖下冷の空気層の形成過程～
- P362 阿部陽介(総研大)・渡邊智彦(核融合科学研)他 1 名 C-CUP 法を用いた大気・海洋界面での交換物理量の評価に向けて
- P363 長谷川拓也・花輪公雄(東北大院理) 西部熱帯太平洋における ENSO に関係した海洋表層貯熱量と大気場の間に見られる関係
- P364 賢田元喜・植田洋匡(京大防災研)他 1 名 砂漠の熱・水収支特性に関する数値的研究
- P365 飯島慈悦(地球観測フロンティア)・河原木常男(都立大)他 4 名 カザフステップにおける植物生育期間の蒸発散に寄与する土壌水分メモリー
- P366 相馬二義(京大工)・田中賢治(京大防災研)他 2 名 局地気象モデルへの詳細な陸面過程モデルの導入
- P367 太泉三津夫(気象研)・平井雅之(気象庁数値予報) MRI/JMA-SiB での濡れ雪アルベドのインパクト
- P368 田中智寛(環境研)・深堀正志(気象研)他 5 名 $8\mu\text{m}$ 付近に存在する N_2O ν_1 並びに $2\nu_2$ バンドの高分解能吸収スペクトル測定
- P369 藪地信弘(NASDA)・中島映至(東大気候システム)他 3 名 i-skyradiometer による雲物理量導出アルゴリズム
- P370 石田泰慶・浅野正二(東北大理大気海洋変動観測センター) 不均質大気中の放射強度計算手法の開発

講演者索引

- <A>
 Abe Yoichi(阿部陽一) C154
 Abe Yoichi(阿部陽一) P127
 Abe Yousuke(阿部陽介) P362
 Abe Yuuhi(阿部雄飛) P166
 Adachi Tatsuhiro(足立樹泰) D166
 Adachi Toru(足立透) P323
 Adachi Yukimasa(足立恭将) B156
 Akimoto Fumie(秋元文江) P327
 Akiyoshi Hideharu(秋吉英治) A351
 Anetai Chiharu(姉帯千春) P347
 Aoki Kazuma(青木一真) C306
 Aonashi Kazumasa(青梨和正) C104
 Aonashi Kazumasa(青梨和正) P324
 Aoyama Yuichi(青山雄一) D151
 Arai Miki(荒井美紀) C359
 Arao Kimio(荒生公雄) D203
 Aryal Deepak D210
 Ashikawa Ryo(芦川亮) A158
 Ashok Karumuri B361
 Asuma Yoshio(遊馬芳雄) C102
 Azuma Eisho(東永祥) P164
-
 Behera Swadhin B362
- <C>
 Chiba Masaru(千葉長) P145
 Chiba Masaru(千葉長) P345
 Chikamoto Yoshimitsu(近本喜光) B363
- <D>
 Dairaku Koji(大染浩司) C168
 Deguchi Eri(出口絵里) D164
 Deushi Makoto(出牛真) P155
- <E>
 Ebuti Naoto(江淵直人) D157
 Eguchi Nawo(江口菜穂) A355
 Eito Hisaki(永戸久喜) C103
 Ejiri Mitsumu(江尻省) A306
 Endo Hirokazu(遠藤洋和) P110
 Endo Nobuhiko(遠藤伸彦) B208
 Enomoto Takeshi(榎本剛) A209
- <F>
 Fudeyasu Hironori(筆保弘徳) A156
 Fudeyasu Hironori(筆保弘徳) B101
 Fujibe Fumiaki(藤部文昭) B207
 Fujieda Tsuyoshi(藤枝剛) C302
 Fujita Shinichi(藤田慎一) P349
 Fujiwara Masatomo(藤原正智) B304
 Fujiwara Masatomo(藤原正智) P109
 Fujiyoshi Yasushi(藤吉康志) P301
 Fukabori Masashi(深堀正志) C301
 Fukao Kazuhito(深尾一仁) P338
 Fukuda Yoshikazu(福田義和) P111
 Fukui Tetsuo(福井哲央) P170
 Fukutomi Yoshiki(福富慶樹) B359
- <G>
 Gamou Minoru(蒲生稔) B352
- <H>
 Haginoya Shigenori(萩野谷成徳) P116
 Hamazu Kyosuke(浜津享助) A102
 Hara Yukari(原由香里) D207
 Harada Ken'ichi(原田憲一) D101
 Hasegawa Takuya(長谷川拓也) P363
 Hashimoto Akihiro(橋本明弘) C210
 Hayashi Syugo(林修吾) A211
 Hayashi Taiichi(林泰一) C368
 Hayashi Takaaki(林孝明) P303
 Hayashida Sachiko(林田佐智子) A352
 Hinokio Moriaki(檜尾守昭) P334
 Hirao Shigekazu(平尾茂一) D360
 Hirasawa Masanobu(平沢正信) P342
 Hirooka Toshihiko(廣岡俊彦) C355
 Honda Meiji(本田明治) B368
- Honda Yuki(本田有機) A212
 Honjo Kaoru(本庄薫) P360
 Hori Masahiro(堀雅裕) P106
 Hori Masatake(堀正岳) B365
 Horiguchi Mitsuaki(堀口光章) A167
 Hoshino Shunsuke(星野俊介) B104
 Hozumi Yu(穂積祐) D108
- <I>
 Ichii Kazuhito(市井和仁) P351
 Ichikawa Yoichi(市川陽一) C365
 Ichino Mika(市野美夏) P317
 Ichiyonagi Kimpei(一柳錦平) P316
 Iga Keita(伊賀啓太) D110
 Igarashi Yasuhito(五十嵐康人) P356
 Iguchi Toshio(井口俊夫) D159
 Iida Yasuhisa(飯田泰久) D162
 Iijima Yoshihiro(飯島慈裕) P365
 Iizuka Yasuko(飯塚康子) P105
 Ikeda Tairon(池田泰論) P162
 Imaizumi Takashi(今泉貴嗣) P102
 Imasu Ryoichi(今須良一) A358
 Inatani Junji(稲谷順司) A357
 Inomata Yayoi(猪股弥生) P348
 Inoue Jun(猪上淳) D302
 Inoue Tomotsugu(井上智臣) P113
 Inoue Toshiro(井上豊志郎) P313
 Irie Hitoshi(入江仁士) A304
 Ishida Haruma(石田春磨) P370
 Ishidaya Shigeyuki(石戸谷重之) D355
 Ishiguro Takeshi(石黒丈士) D204
 Ishii Shoken(石井昌憲) A359
 Ishijima Kentaro(石島健太郎) D356
 Ishimoto Hiroshi(石元裕史) P302
 Ishiwata Hiroomi(石渡宏臣) P333
 Ishizaka Masaaki(石坂雅昭) P130
 Ishizawa Misa(石澤みさ) D353
 Isoda Fusako(磯田総子) C354
 Itano Toshihisa(板野稔久) B102
 Ito Akihiko(伊藤昭彦) P147
 Iwabuchi Hironobu(岩淵弘信) C304
 Iwai Kunimoto(岩井邦中) P129
 Iwamoto Katsushi(岩本勉之) C109
 Iwanami Koyuru(岩波越) A106
 Iwanami Koyuru(岩波越) D161
 Iwao Koki(岩尾航希) P168
 Iwasa Yoshiharu(岩朝美晴) B165
 Iwasaki Sugunori(岩崎彬紀) P165
 Iwashita Hirokazu(岩下広和) B353
 Iwayama Takahiro(岩山隆寛) D109
- <J>
 Ji Don-uku(池東旭) A164
- <K>
 Kadokura Shinji(門倉真二) B213
 Kagawa Akiko(香川晶子) D366
 Kai Chihiro(甲斐千尋) B214
 Kajino Mizuo(梶野瑞王) D308
 Kamahori Hiroataka(釜堀弘隆) B113
 Kamiakito Yuko(上明戸優子) A154
 Kamiguchi Kenji(上口賢治) B151
 Kanada Sachie(金田幸恵) C160
 Kanehisa Hiroataka(金久博忠) P143
 Kaneyasu Naoki(兼保直樹) D215
 Kasai Yasuko(笠井康子) A356
 Kasuya Hideyuki(粕谷英行) P318
 Katata Genki(堅田元喜) P364
 Katayama Masayuki(片山勝之) P121
 Kato Kuranoshin(加藤内藏進) B205
 Kato Teruyuki(加藤輝之) C162
 Kato Teruyuki(加藤輝之) C163
 Katsumata Masaki(勝俣昌己) B310
 Kawabata Takuya(川畑拓矢) P341
 Kawaguchi Kazuya(川口和哉) P128
 Kawamoto Nozomi(河本望) A353
 Kawamura Youhei(河村洋平) P107
 Kawasaki Zen-ichiro(河崎善一郎) P320
 Kayahara Takahiro(柏原孝浩) P163

- Khatri Pradeep C308
 Kidachi Hiroshi(木立博) D358
 Kikuchi Kazuyoshi(菊地一佳) B306
 Kikuchi Nobuhiro(菊地信弘) P369
 Kimura Noriaki(木村詞明) C357
 Kinoshita Masahiro(木下正博) P361
 Kinoshita Nobuyuki(木下宣幸) P304
 Kita Kazuyuki(北和之) D363
 Kitabatake Naoko(北島尚子) B106
 Kitabatake Naoko(北島尚子) C152
 Kobayashi Takahisa(小林隆久) C211
 Kodama Yasumasa(児玉安正) B356
 Kojima Masaya(小嶋正也) P133
 Komori Nobumasa(小守信正) P315
 Kondo Hiroaki(近藤裕昭) D351
 Kondo Yoshimi(近藤善美) P319
 Kondo Yutaka(近藤豊) D305
 Konishi Hiroyuki(小西啓之) C201
 Konishi Hiroyuki(小西啓之) P332
 Koshiro Tsuyoshi(神代剛) D365
 Kouchi Yuu(河内悠) P122
 Kuba Naomi(久芳奈遠美) C208
 Kubo Hiroshi(久保博) P108
 Kubota Naoyuki(久保田尚之) P156
 Kumagai Hiroshi(熊谷博) A110
 Kumagai Yukihiko(熊谷幸浩) A206
 Kuroda Takeshi(黒田剛史) D114
 Kuroda Yuhji(黒田友二) B369
 Kurokawa Jun-ichi(黒川純一) D367
 Kusunoki Kenichi(楠研一) C106
 Kusunoki Shoji(楠昌司) B152
 Kuwagata Tsuneo(桑形恒男) A165
 Kuwata Michiko(桑田路子) A107
- <L>
 Lestari Rosbintarti Kartika P344
- <M>
 Mabuchi Kazuo(馬淵和雄) B167
 Maki Masayuki(真木雅之) D160
 Mano Yuzo(真野裕三) C305
 Mashiko Wataru(益子涉) A210
 Matsuda Kazuhide(松田和秀) D364
 Matsuki Atsushi(松木篤) P150
 Matsumoto Hideaki(松本英明) P138
 Matsumura Misako(松村美沙子) P169
 Matsushima Dai(松島大) A168
 Matsushima Kazuhiro(松島和宏) D112
 Matsushita Hiroki(松下拓樹) P120
 Matsushita Yujiro(松下勇二郎) C363
 Mimura Kazuo(三村和男) D111
 Misaki Toshimitsu(味崎利光) B105
 Misumi Ryohei(三隅良彦) C206
 Miura Kazuhiko(三浦和彦) D214
 Miyakawa Takuma(宮川拓真) P149
 Miyake Satoka(三宅里香) P119
 Miyasaka Takafumi(宮坂貴文) B354
 Miyata Nozomi(宮田望) B201
 Miyazaki Kazuyuki(宮崎和幸) D368
 Miyazaki Yasuhiko(宮崎保彦) P161
 Miyazaki Yuuzou(宮崎雄三) D306
 Mizuta Ryo(水田亮) B168
 Mori Akiko(森明子) C352
 Mori Kazumasa(森一正) P132
 Mori Shuichi(森修一) B308
 Morimoto Takeshi(森本健志) P326
 Morino Yu(森野悠) D307
 Moriyama Shigeru(森山茂) B351
 Motoi Tatsuo(本井達夫) B157
 Motoya Ken(本谷研) P114
 Mouri Hideaki(毛利英明) A169
 Muraji Yosataka(村治能孝) B209
 Murakami Masataka(村上正隆) C105
 Murakami Shigenori(村上茂敦) B164
 Murata Akihiko(村田昭彦) P339
 Murata Fumie(村田文絵) P159
 Muroi Chiashi(室井ちあし) A204
- <N>
 Nagahama Tomoo(長浜智生) D354
 Nagai Shin(永井信) P312
- Nagai Tomohiro(永井智広) D153
 Nagashima Tatsuya(永島達也) B155
 Naito Daisuke(内藤大輔) C157
 Nakai Sento(中井専人) C107
 Nakai Sento(中井専人) C108
 Nakajima Hideaki(中島英彰) A301
 Nakajima Kensuke(中島健介) B307
 Nakamura Kazumasa(中村和正) P355
 Nakamura Kenji(中村憲司) P154
 Nakamura Takuya(中村卓也) B355
 Nakano Masuo(中野満寿男) B107
 Nakano Masuo(中野満寿男) P135
 Nakazawa Tetsuo(中澤哲夫) C155
 Nasuno Tomoe(那須野智江) C169
 Niimura Noriko(新村典子) D213
 Ninomiya Kozo(二宮洗三) C101
 Ninomiya Kozo(二宮洗三) C153
 Nishi Noriyuki(西憲敬) B305
 Nishihata Hidenori(西畑秀則) P343
 Nishii Kazuaki(西井和晃) D107
 Nishimori Motoki(西森基貴) B162
 Nishio Masanori(西尾正則) D152
 Niwano Masanori(庭野将徳) A354
 Noda Akira(野田暁) C203
 Noda Akira(野田彰) D105
 Nodzu Masato(野津雅人) B360
 Nogami Michimori(野上道守) P148
 Nohara Daisuke(野原大輔) A207
 Nomura Manami(野村真奈美) C158
 Nozawa Toru(野沢徹) B153
- <O>
 Oasa Yumiko(大朝由美子) C303
 Ochiai Satoshi(落合啓) P305
 Oda Tomohiro(小田和宏) D352
 Odaira Tomoaki(大平智章) P346
 Ogi Masayo(小木雅世) B367
 Ohashi Yukitaka(大橋唯太) A162
 Ohdaira Mitsuru(大平満) P139
 Ohfuchi Wataru(大淵渚) A208
 Ohgane Takuya(大鐘卓哉) P329
 Ohi Atsushi(大井淳) P123
 Oh' izumi Mitsuo(大泉三津夫) P367
 Ohkura Takehisa(大倉毅史) D359
 Ohno Yuichi(大野裕一) A101
 Ohno Yuichi(大野裕一) P134
 Ohta Takuma(太田琢磨) C361
 Ohtsubo Toshiharu(大坪利治) P151
 Okamoto Hajime(岡本創) A109
 Okamoto Kenichi(岡本謙一) P307
 Oku Yuichiro(奥勇一郎) D155
 Okumura Sinichirou(奥村真一郎) A361
 Ono Kousuke(小野耕介) P124
 Onozuka Hiroshi(小野塚裕也) D158
 Oouchi Kazuyoshi(大内和良) B112
 Orikasa Narihiro(折等成宏) P131
 Oshima Naga(大島長) D362
 Ota Yoshifumi(太田芳文) D156
 Ozawa Hisashi(小澤久) D104
- <P>
 Park Sangsoon(朴相郡) C213
 Peng Xindong(彭新東) A203
- <R>
 Reddy K.Krishna P160
 Rikiishi Kunio(力石國男) A155
- <S>
 Saitoh Naoko(齋藤尚子) A305
 Sakai Daisuke(酒井大輔) D113
 Sakai Koji(酒井晃二) P167
 Sakai Kotaro(酒井孝太郎) B158
 Sakai Ryota(酒井亮太) B109
 Sakai Tetsu(酒井哲) P352
 Sakamoto Kei(坂本圭) C358
 Sakanori Kazuyo(坂野井和代) C353
 Sasai Takahiro(佐々井崇博) P350
 Sasaki Kaori(佐々木華織) P328
 Sasaki Taichi(佐々木太一) A153
 Sasaki Yoshiaki(佐々木佳明) C202

- Sasano Masahiko(篠野雅彦) D167
 Sasaoka Masahiro(笹岡雅宏) P101
 Sasaoka Masahiro(笹岡雅宏) P310
 Sato Naoki(佐藤尚毅) A160
 Sato Noboru(佐藤昇) P117
 Sato Yasuo(佐藤康雄) B160
 Satoh Masaki(佐藤正樹) P136
 Satoh Shinsuke(佐藤晋介) D163
 Sawada Masahiro(沢田雅洋) A157
 Sayake Shinsuke(佐竹晋輔) D209
 Seino Naoko(清野直子) P358
 Seki Takanori(関隆則) P115
 Sekizawa Shinya(関澤信也) P306
 Seko Hiromu(瀬古弘) P118
 Seko Hiromu(瀬古弘) P340
 Seto Tri Handoko B302
 Sha Weiming(余偉明) A161
 Shibagaki Yoshiaki(柴垣佳明) C167
 Shibata Yukari(芝田由香里) D154
 Shige Shoichi(重高一) P157
 Shimbori Toshiki(新堀敏基) A214
 Shimizu Atsushi(清水厚) D211
 Shimizu Takahiro(清水崇博) C151
 Shimomai Toyoshi(下舞豊志) P103
 Shiokawa Kazuo(塩川和夫) D168
 Shiomoto Kozo(塩本耕三) P125
 Shoji Yoshinori(小司慎教) A215
 Souma Kazuyoshi(相馬一義) P366
 Sudo Kengo(須藤健悟) D304
 Sugawara Hirofumi(菅原広史) P357
 Sugawara Satoshi(菅原敏) D357
 Sugihara Toshio(杉原敏夫) B203
 Sugimoto Nobuo(杉本伸夫) D205
 Sugimura Takeshi(杉村剛) P142
 Sugita Takahumi(杉田考史) A307
 Sugiura Konosuke(杉浦幸之助) C113
 Surendran Sajani(スレンランサジャーニ) B357
 Suzuki Issei(鈴木一成) P153
 Suzuki Kazue(鈴木香寿恵) P353
 Suzuki Makoto(鈴木睦) A360
 Suzuki Makoto(鈴木睦) P308
 Suzuki Shinichi(鈴木真一) B163
- <T>
 Tachibana Yoshihiro(立花義裕) B204
 Tagawa Tetsuya(田川哲也) A105
 Takada Shimichi(高田伸一) C111
 Takahashi Hiroshi(高橋洋) P112
 Takahashi Kiyotoshi(高橋清利) B210
 Takahashi Nobuhiro(高橋暢宏) C212
 Takahashi Nobuhiro(高橋暢宏) P331
 Takahashi Nobuto(高橋信人) P314
 Takahashi Yoshiyuki(高橋芳幸) P144
 Takahashi Yukihiko(高橋幸弘) A363
 Takahashi Yuuichi(高橋祐一) P104
 Takai Hiroshi(高井博司) C362
 Takaki Toshiaki(高木敏明) P336
 Takamura Yoko(高村陽子) P311
 Takano Toshiaki(鷹野敏明) A108
 Takayabu Izuru(高数出) B166
 Takeda Shigeo(武田重夫) P137
 Takemi Tetsuya(竹見哲也) A151
 Takemi Tetsuya(竹見哲也) P330
 Takemura Toshihiko(竹村俊彦) B154
 Takemura Toshihiko(竹村俊彦) D303
 Takeshita Shinichi(竹下伸一) B202
 Takeuchi Yoshiaki(竹内義明) D165
 Tamiya Kyuichiro(田宮久一郎) A213
 Tanaka Hirosaki(田中博) D103
 Tanaka Tomoaki(田中智章) P368
 Terao Yukio(寺尾有希夫) A303
 Teshiba Michihiro(手柴充博) B103
 Thurai Merhala(スライマハラ) C214
 Tomita Hirofumi(冨田浩文) A201
 Tsuboki Kazuhisa(坪木和久) C156
 Tsubota Yukimasa(坪田幸政) C366
 Tsujino Fumitaka(辻野文剛) P158
 Tsutsumi Yukitomo(堤之智) D201
- Tsutsumi Yukitomo(堤之智) P354
- <U>
 Uchiyama Takao(内山貴雄) B161
 Ueda Hiroaki(植田宏昭) B364
 Uematsu Akihisa(植松明久) A103
 Ueno Mitsuru(上野充) B108
 Umemoto Yasuko(梅本泰子) C161
 Uno Itsushi(鵜野伊津志) D208
 Uno Sachiyo(宇野幸代) P141
 Ushio Tomoo(牛尾知雄) P325
 Ushiyama Tomoki(牛山朋来) C166
- <V>
 Verdes Carmen P309
- <W>
 Wada Akiyoshi(和田章義) B110
 Wada Eiko(和田英子) C209
 Wada Makoto(和田誠) D301
 Watanabe Akira(渡邊明) C112
 Watanabe Hiromichi(渡邊啓倫) P126
 Watanabe Masahiro(渡部雅浩) D102
 Watanabe Shingo(渡辺真吾) C356
 Watanabe Tsutomu(渡辺力) A166
 Wu Peiming(伍培明) A152
- <Y>
 Yahagi Toshihiro(矢萩智裕) P140
 Yamada Hiroyuki(山田広幸) C164
 Yamada Hiroyuki(山田広幸) C165
 Yamada Maromu(山田丸) D202
 Yamaguchi Satoru(山口悟) C110
 Yamamori Miho(山森美穂) C351
 Yamamoto Akira(山本哲) A104
 Yamamoto Akira(山本哲) C364
 Yamamoto Masaru(山本勝) D106
 Yamamoto Masayuki(山本真之) B303
 Yamamoto Takashi(山本享) D206
 Yamane Ayako(山根彩子) C215
 Yamane Yusuke(山根悠介) C204
 Yamasaki Masanori(山岬正紀) C159
 Yamashita Katsuya(山下克也) P152
 Yamashita Keiko(山下景子) C360
 Yamawaki Sawato(山脇沢人) C207
 Yamazaki Akihiro(山崎明宏) C307
 Yamazaki Koji(山崎孝治) B366
 Yamazaki Nobuo(山崎信雄) B206
 Yamazaki Takeshi(山崎剛) B212
 Yamazaki Yosuke(山崎陽介) A205
 Yashiro Hisashi(八代尚) D361
 Yasuda Nobuhisa(安田延壽) A163
 Yasunaga Kazuaki(安永敏明) B170
 Yasunaga Kazuaki(安永敏明) C205
 Yokobori Makoto(横堀誠) C367
 Yokoi Satoru(横井寛) B301
 Yokomori Junichi(横森淳一) P321
 Yokota Tatsuya(横田達也) A302
 Yomogita Yasuhiro(蓬田安弘) A159
 Yoneyama Kunio(米山邦夫) B309
 Yoshida Kazuho(吉田一穂) P322
 Yoshida Shigeomi(吉田重臣) A362
 Yoshida Yasuhiro(吉田保衡) P337
 Yoshikane Takao(吉兼隆生) B211
 Yoshimura Hiromasa(吉村裕正) A202
 Yoshimura Kei(芳村圭) B358
 Yoshioka Mayumi(吉岡真由美) B111
 Yoshizaki Masanori(吉崎正憲) B169
 Yukimoto Seiji(行本誠史) B159
 Yuuki Yousuke(結城陽介) P359
- <Z>
 Zama Kimio(座間公夫) P146
 Zeng Jiye P335
 Zhang Daizhou(張代洲) D212
 Zhou Libo D369